



取扱説明書

DVD Entertainment System

PKG-2000



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

アルパイン マーケティング(株)

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL : 0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL : 048-662-6636
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30 ~ 17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX : 048-662-6676
- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>



目次

安全にお使いいただくために

警告	1
注意	1
取り扱い上のご注意	2
本機で再生できるディスクについて	3

リモコンで使用にあたって

リモコン使用時のご注意	5
リモコンの電池交換	5
オーバーヘッドモニター	6
リモコン	6
リモコン機能のキーマップ	7

基本操作

電源のON/OFF	8
ディスクの出し入れ	8
音声のミュート機能	9
音量の調整	9
ソースの切り替え	9
バックライトの明るさ設定	9
ビジュアルEQの切り替え	9

デバイス・コントロール

デバイス・コントロールをメモリに 保存する	10
リモコンからソース名を選択する	10

DVD

DVD／ビデオCDの再生	11
再生の停止 (PRE-STOP)	11
再生の停止	11
早送り／早戻し	11
チャプター／トラックの頭出し	12
静止 (一時停止) する	12
フレーム単位の再生	12
スローモーションの再生	12
タイトル番号による検索 (DVDのみ) ..	12
チャプター番号／トラック番号による 直接検索	12
チャプター／トラック／タイトルの 繰り返し再生	13
オーディオトラックの切り替え	13
アングルの切り替え (DVDのみ)	13

サブタイトル (字幕言語) の切り替え

(DVDのみ)	13
ディスク状態の表示 (DVDのみ)	14
ディスク状態の表示 (ビデオCDのみ) ..	14

TVチューナーのシステムコントロール

プリセットチャンネルの選択	15
チャンネルの手動検索	15
チャンネルのメモリへの保存	15

ISDB-T (地上デジタル放送) ／DVB-T

モニターのセットアップ

画像の調整	17
音声と画面の設定	18
システムコントロールの設定	19

DVDのセットアップ

DVDセットアップ操作	21
カスタムセットアップ操作	23

ワイヤレスヘッドホン

ヘッドホン・レシーバー	24
操作	24
電池の挿入	24

取り付けと接続

警告	25
注意	25
取り扱い上のご注意	25
接続図	26
取り付け側	27
ルームランプの接続	27
システムの接続例	28

その他

言語コード表	29
--------------	----

故障かな？と思ったら

メッセージが表れたら	32
付属品	33
規格	33
取り付けブラケット、トリムリングを 使用した取り付け例	34
保証について	35

安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いません。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



挿入用スロットやすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたら柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接本機にかけないでください。液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニター表面は傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったりしないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーは使用しないでください。変色、変質の原因になります。

結露にご注意

結露によって、ディスクが正常に再生できない場合があります。このようなときには、プレーヤーからディスクを取り出し、水分が蒸発するまで約1時間お待ちください。

ヒューズ交換

ヒューズを交換する場合は、ヒューズホルダーに記載のアンペア数のものをご利用ください。ヒューズが飛んだ場合は、各電気接続部分にショートがないか入念に調べてください。また、車両の電圧が正常であることを確認してください。

ディスクの損傷

割れ・ねじれ・傷などのあるディスクを入れると、再生機能をひどく損傷する場合がありますので、使用しないでください。

保守

問題が生じた場合、ご自身で修理しないでください。アルバインのお問い合わせ窓口またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。

液晶パネルの特徴

- システムの電源スイッチを切った後で、わずかなゴーストが一時的に残存します。これは液晶技術に固有の効果で、一般的な現象です。
- 低温条件下では、画面のコントラストが一時的に失われることがあります。ウォームアップを短時間行くと、画面のコントラストは元に戻ります。

- 液晶パネルは非常に精巧な製造技術を使用して製造されており、有効画素数は99.99%を超えていますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

ワイヤードヘッドホンをお使いになるお客様へ

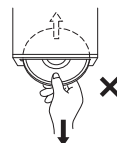
- 本機でご使用になる場合は、24Ω～45Ωインピーダンスのワイヤードヘッドホンをおすすめします。

IRワイヤレスヘッドホンのご使用について

- IRワイヤレスヘッドホンは受信範囲が限られています。ノイズの少ない距離でご使用ください。また、ACCまたはモニターの電源をオフにすると、ヘッドホンから大きな音が流れます。モニターをオフにする前に、必ずIRワイヤレスヘッドホンは耳から外してください。

禁止事項

自動装填機能により、ディスクがプレーヤーに戻るときに、ディスクを掴んだり、引っ張ったりしないでください。また、本機の電源がオフのときには、ディスクを挿入しないでください。

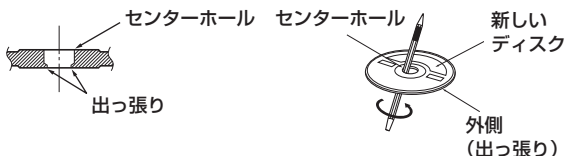


ディスクの挿入

お買い上げのプレーヤーは、1度に1枚のディスクだけを再生できます。ディスク挿入時にラベル側が上向きになっていることを確認してください。ディスクが正しく挿入されていない場合は、▲を押してディスクを取り出してください。揺れの激しい道を運転中にディスクを作動させていると、スキップすることがありますが、ディスクに傷を付けたり、プレーヤーに損傷を与えたりすることはありません。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。



特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



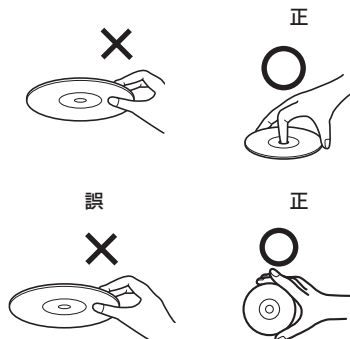
取り付け位置

以下の場所には、PKG-2000を取り付けないでください。

- 直射日光や高温にさらされる場所
- 湿度が高く、水のある場所
- ほこりの多い場所
- 振動の激しい場所

正しい取り扱いについて

取り扱い中にディスクを落とさないでください。ディスク表面に、指紋をつけないように持ってください。テープ、紙、粘着式ラベルをディスクに貼り付けしないでください。ディスク表面に書き込まないでください。



ディスクのお手入れ

ディスク表面に指紋、ほこり、汚れなどが付いていると、DVDプレーヤーのスキップの原因となります。定期的なお手入れとして、きれいな柔らかい布でディスクの中央から外周に向けて再生面を拭いてください。ディスク表面がひどく汚れている場合は、きれいな柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませ、よくしぼってからディスクを拭いてください。



本機で再生できるディスクについて

● 再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

	マーク (ロゴ)	記録内容	ディスク サイズ	最大再生時間
DVD ビデオ		音声 + ビデオ (動画)	12cm*	片面ディスク 約4時間
			8cm	両面ディスク 約8時間
ビデオ CD		音声 + ビデオ (動画)	12cm	約74分
			8cm	約20分
音楽CD		音声	12cm	約74分
			8cm (シングルCD)	約20分

*2層DVDディスクに対応しています。

● 再生できないディスク

DVD-ROM、DVD-RAM、DVD+RW、CD-ROM、Photo CD

● DVDリージョン番号 (再生可能な地域番号) について

本機のリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号を含んでいないまたは、が表示されていないディスクは再生できません。



● ビデオCDについて

本機は、ビデオCD (バージョン2) と互換性のあるプレイバックコントロール (PBC) に対応しています。PBCとは、ディスクに記録したメニュー画面を使用して、見たいシーンやダイアログ形式の様々な情報を見ることができる機能です。

● コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) のご使用について

CD規格外のディスクを使用された場合には、安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音したCD-R（録音可能CD）/CD-RW（書き込み可能CD）を再生することができます。

以下のようなディスクは、本機で再生できないことがあります。

指紋やキズが付いているディスク、極端な温度や日光にさらされたディスク（車内や本機内に放置されていた場合など）、不安定な条件下で録音されたディスク、不正な録音や再録音が試みられたディスク、オーディオCD業界標準に準拠していないコピーを禁止しているCD。

● CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- ・ CD-R/CD-RWの再生ができない場合は、ファイナライズ処理されていることを確認してください。
- ・ 行われていない場合は、ファイナライズ処理を行い、再度お試しください。

● コンパクトディスク (CD/CD-R/CD-RW) の取り扱い上のご注意

- ・ 表面を触らないでください。
- ・ ディスクに直射日光を当てないでください。
- ・ ステッカーやラベルを貼付しないでください。
- ・ 汚れている場合は、ディスクをきれいにしてください。
- ・ ディスクが滑らかで真っ直ぐであることを確認してください。

ディスクを車の中やプレーヤーの中に長期間放っておかないでください。また、ディスクに直射日光を当てないでください。

高温と湿度によってディスクが損傷し、再生できなくなる場合があります。

● DVD-R/DVD-RWをご使用のお客様へ

- ・ 本機は、DVD-Videoモードで記録されたディスクにのみ対応しています。DVD-VRモードで記録されたディスクの再生はできません。
- ・ ファイナライズ処理（再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理）が行われていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ・ ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては、再生できない場合もあります。（本機は、違法コピー検出機能を有しており、違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では、違法コピーディスクと検出する場合があります。）
- ・ 録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズが汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- ・ DVD-R/DVD-RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上のご注意を必ずお守りください。
- ・ DVD-R/DVD-RWディスクのレーベル面や記録面に、ステッカー、シール、テープなどを貼らないでください。
- ・ DVD-R/DVD-RWディスクは、通常のディスクに比べ、高温多湿環境や直射日光に弱く、長時間車内等に放置すると損傷し、本機で再生できなくなる場合があります。

● ディスクに関する用語について

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切ったいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

- ※ 本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ※ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、PRO LOGICおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ※ DTS およびDTS 2.0は、米国Digital Theater System, Inc. の登録商標です。

リモコンご使用にあたって

リモコン使用時のご注意

- ・ リモコンは、リモコンセンサーから約2m以内の範囲でセンサーに向けてください。
- ・ リモコンセンサーが直射日光に当たっていると、リモコンを操作できないことがあります。
- ・ リモコンは、小型で軽量の精密機械です。損傷を受けたり、電池寿命が短くなったり、誤動作や、反応が悪くなったりしないように、次の点を注意してご利用ください。
 - ・ リモコンに過度の衝撃を与えないでください。
 - ・ スポンのポケットに入れないでください。
 - ・ 食べ物・水・汚れたものの近くに置かないでください。
 - ・ 直射日光の当たるところに置かないでください。

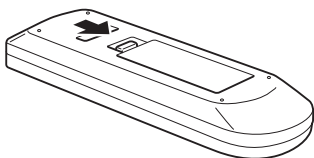
初めてリモコンを使用する場合は、使用前にプラスチック製のテープを引き抜いてください。

リモコンの電池交換

電池の種類：単4電池または同等品。

1 電池ケースを開けます。

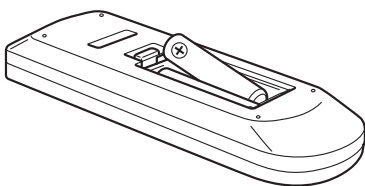
矢印の方向に押しながら電池カバーを引き上げてください。



2 電池を交換します。

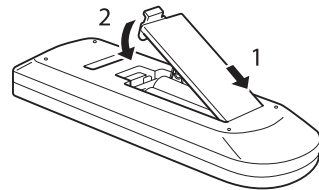
図のように (+) を上に向けてケースへ電池を入れてください。

- ・ 電池を逆方向に入れると故障の原因になります。



3 カバーを閉めます。

図のようにカチッというまで、カバーをスライドさせます。

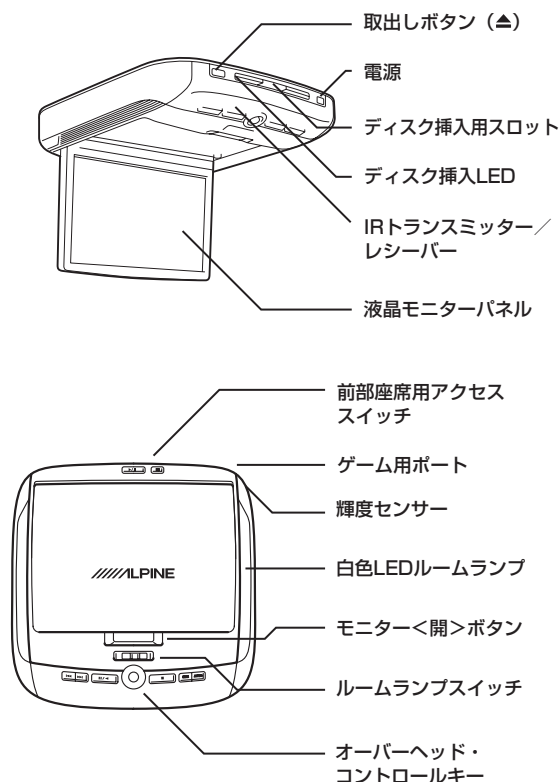


警告

安全運転の妨げになるような本機の操作はしないでください。

本機の操作に長時間かかる場合は、完全に車両を停止してから行ってください。事故の原因になります。注意が必要な操作を行う場合は、必ず車両を安全な場所に停止してください。

オーバーヘッドモニター



液晶モニターパネル

このパネルは10.2型アクティブマトリクスワイドVGAカラー液晶ディスプレイです。液晶パネルの最上部には、IRワイヤレスヘッドホンのトランスミッターがあります。

モニター<開>ボタン

モニター<開>ボタンを押すと、モニターパネルが利用できます。パネルは少し下がり、90度以上開きます。閉じるには、カチッと音がするまで、液晶モニターパネルをハウジング内に押し込んでください。

白色LEDルームランプ

白色LEDルームランプの接続部には(+)と(-)の極性があります。27ページの「ルームランプの接続」を参照しながら、丁寧にモニターに取り付けてください。

ルームランプスイッチ

ルームランプスイッチでルームランプの電源のON/OFF操作をします。スイッチをドアに設置すると、ドアを開けたときにルームランプが点灯します。

オーバーヘッド・コントロール

オーバーヘッドモニターのメイン電源スイッチを入れると、青のバックライトボタンが点灯します。DVDオーバーヘッドモニター等の制御にはオーバーヘッド・コントロールにあるボタンを使用します。

前部座席用コントロールボタン

FM : FMモジュレーターのON/OFFスイッチ

FMボタンをONにすると、モニターのDVDサウンドが

ラジオで受信できます。FMモジュレーターを使用するには、システムメニューのFMトランスミッター機能をONにしてください。

▶/|| : 再生・一時停止・電源用スイッチ

前部座席からDVDの再生・一時停止ができます。また、本機の電源を入れることもできます。このスイッチを長押しすると、本機の電源を切ることができます。

IRトランスミッター／レシーバー

IRトランスミッターは、ヘッドホンに音声を送信します。IRレシーバーは、リモコンからの信号を受信します。

取り出しボタン

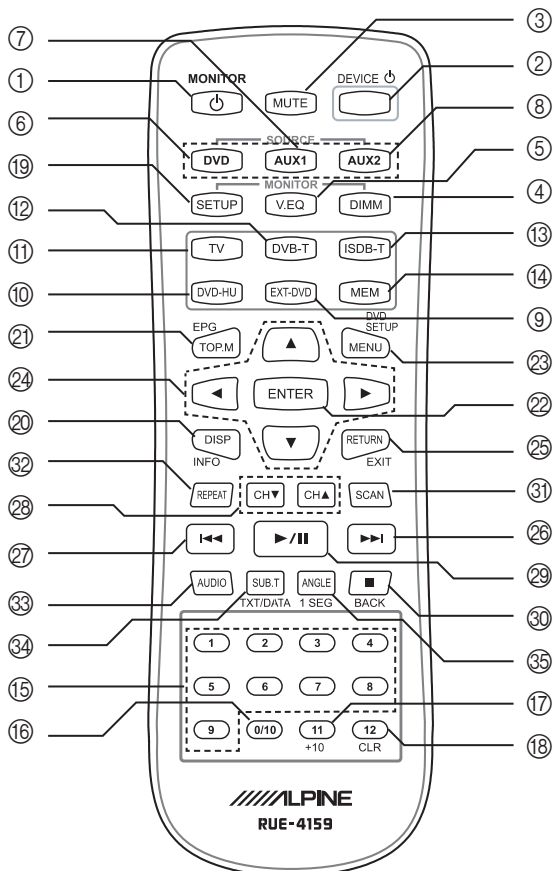
取り出しボタンを押すと、ディスクが排出されます。イグニッションキーをACCまたはONに設定している場合は、電源がOFFになっていてもディスクを取り出すことができます。

ディスク挿入LED

ディスクがDVDプレーヤー内にあり、電源が入っていると、ディスク挿入LEDランプが点灯します。

リモコン

RUE-4159は、内蔵DVD、オーバーヘッドモニターおよび5つのデバイスを操作できるユニバーサルリモコンです。7ページの各デバイスの機能ボタン用キーマップの項を参照してください。



リモコン機能のキーマップ

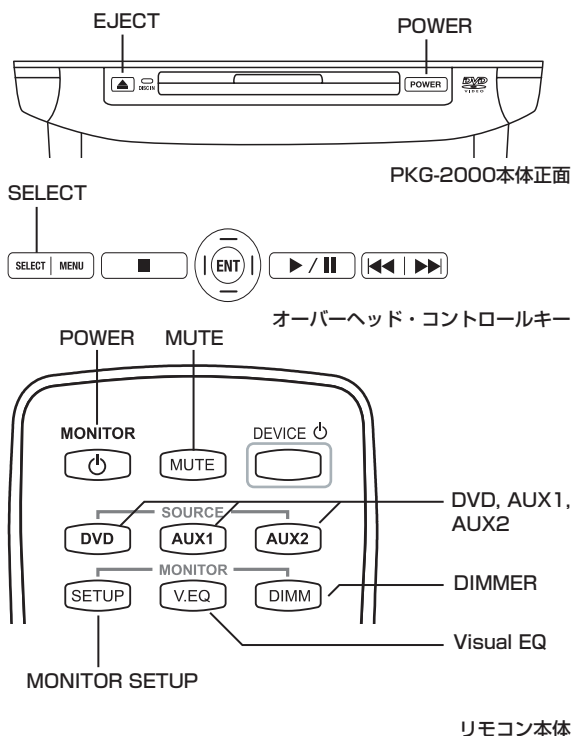
RUE-4159リモコンキーの割当て

	キーの機能	オーバーヘッド モニター	DVD/EXE- DVD	DVDヘッド ユニット	ISDB-T (地上デジタル テレビチューナー)	DVB-T *1 (ヨーロッパのみ)	TVチューナー
1	モニター電源	✓					
2	デバイス電源		✓	✓	✓	✓	✓
3	ミュート	✓					
4	DIMMER	✓					
5	ビジュアルEQ	✓					
6	DVD	✓					
7	AUX1	✓					
8	AUX2	✓					
9	デバイスモード：EXT-DVD	✓					
10	デバイスモード：DVDハードユニット	✓					
11	デバイスモード：TVチューナー	✓					
12	デバイスモード：DVB-T	✓					
13	デバイスモード：ISDB-T	✓					
14	デバイスモードメモリ：MEM	✓					
15	数字キー：1		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：2		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：3		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：4		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：5		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：6		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：7		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：8		✓	✓	✓	✓	✓
16	数字キー：9		✓	✓	✓	✓	✓
	数字キー：0/10		✓	✓	10	✓	✓
	DVD、DVDハードユニット、DVB-T、 TV=0、ISDBT=10						
	数字キー：11(+10)		+10	+10	11		
	DVD/DVDハードユニット=+10						
	数字キー12(消去)		消去		12		
	DVD=消去						
	セットアップ	✓	メニュー (P&H)*2	メニュー (P&H)*2			
20	DISP(お知らせ)		✓	✓	✓	お知らせ	
21	DVB-T=お知らせ						
21	TOP.M (テレビ番組表)		✓	✓	テレビ番組表	テレビ番組表	
22	ISDB/DVB-T=テレビ番組表						
22	ENTER	✓	✓	✓	✓	✓	
23	メニュー (DVDセットアップ)		✓	✓	✓	✓	
24	UP上：▲	✓	✓	✓	✓	✓	
	DN下：▼	✓	✓	✓	✓	✓	
	LT左：◀	✓	✓	✓	✓	✓	
	RT右：▶	✓	✓	✓	✓	✓	
25	RETURN(EXIT)		✓	✓	✓	EXIT	
26	ISDB-T=RETURN DVB-T=EXIT						
26	スキップまたは早送り▶▶		✓	✓	プリセット UP(上)	お気に入り UP(上)	プリセット UP(上)
27	スキップまたは早戻し◀◀		✓	✓	プリセット DN(下)	お気に入り DN(下)	プリセット DN(下)
28	チャンネル上：CH▲		✓		✓	✓	✓
28	チャンネル下：CH▼		✓		✓	✓	✓
29	再生／一時停止：▶/		✓	✓			
30	停止：■ (BACK)		✓	✓		BACK	
30	DVB-T=BACK						
31	スキャン					✓	✓
32	リピート		✓	✓			
33	音声		✓	✓		✓	
34	サブタイトル (DATA) (TXT)		✓	✓	DATA (データ)	TXT (テキスト)	
34	ISDB-T=DATA DVB-T=TXT						
35	アングル (1セグメント)		✓	✓	1/13 セグメント		
35	ISDB-T=1/13セグメント						

*1：日本ではご使用できません。

*2：P&Hとは、キーを長押しの意味です。

基本操作



電源のON/OFF

イグニション／ACCをOFFにすると、モニターの電源状態がメモリに保存されます。イグニション／ACCをONに戻すと、モニターはメモリに保存された電源状態（ONまたはOFF）に戻り、DVDの再生位置も元の状態に戻ります。

オーバーヘッド・コントロール

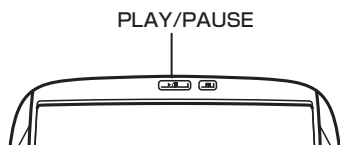
- 1 **POWER**を押して電源を入れます。
 - 2 電源を切る場合は、もう一度**POWER**を長押しします。
- ・電源が入っている場合、POWERを押すと、音量がミュートされます。

リモコン

- 1 **POWER**を押して電源を入れます。
- 2 電源を切る場合は、もう一度**POWER**を長押しします。

前部座席用コントロール装置

- 1 **PLAY/PAUSE**ボタンを押して電源を入れます。
- 2 電源を切る場合は、**PLAY/PAUSE**ボタンを長押しします。



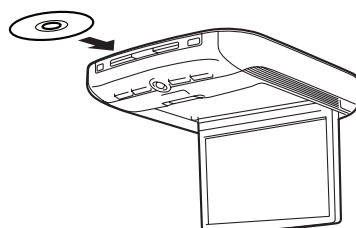
ディスクの出し入れ

ディスクの出し入れを行う前に電源を入れます。

ディスクを入れる

- 1 ラベル側を上にしてディスクを入れます。

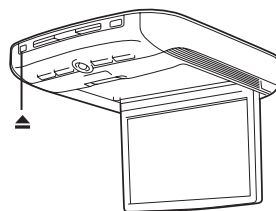
ディスクを少し挿入すると、自動的にディスクが入っていきます。再生が始まります。



- ・イグニションキーがACCまたはONにある場合は、電源がOFFでもディスクを挿入できます。
- ・両面ディスクのDVDの場合、片側のディスクを最後まで再生してから、ディスクを取り出します。そのディスクをウラ返して、再び挿入し、残りの片側を再生します。
- ・ナビゲーション用の地図ディスクを入れると、本機が故障する恐れがありますので、絶対に入れないください。
- ・間違ったディスクを入れたり、裏表を逆にしてディスクを入れたり、汚れたディスクを入れたりすると、DISC ERRORが表示されます。▲を押して、ディスクを取り出してください。

ディスクを取り出す

- 1 取出しボタン（▲）を押す。
- ディスクを取り出してください。



- ・しばらくしてもディスクが出てこない場合、ディスクは自動的に再挿入されます。
- ・イグニションキーがACCまたはONにある場合は、電源がOFFでもディスクを取り出せます。ディスクを取り出すと、電源は自動的に切れます。
- ・ACCがOFFの場合、またはディスクが挿入されている（LOADINGが表示されている）場合、▲を押してもディスクは取り出せません。

音声のミュート機能

オーバーヘッド・コントロール

- 1 電源が入っているときに、**POWER**を押すと、ミュート機能がONになります。
- 2 もう一度**POWER**を押して、ミュート機能をOFFにします。

リモコン

- 1 リモコンの**MUTE**を押してミュート機能のONとOFFを切り替えます。

音量の調整

音量は、ヘッドホンまたはご使用のラジオの音量機能から調節できます。

- 1 ヘッドホンの**POWER**をONにします。
- 2 音量を調整する場合、右に回すと音量が大きくなり、左に回すと、小さくなります。
音量の調整については、24ページのワイヤレスヘッドホンの項を参照してください。

ソースの切り替え

オーバーヘッド・コントロール

- 1 **SELECT**を押して、ソースを切り替えます。
- 2 **SELECT**を押して、DVD、AUX1、AUX2のソースを順番に切り替えます。



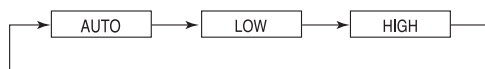
リモコン

- 1 **DVD**、**AUX1**、**AUX2**のいずれかを押して、ソースを直接切り替えます。
 - ・ 6秒以内に操作を行わないと、OSD (On Screen Display) が自動的に消えます。
 - ・ デバイスをAUX1とAUX2に接続するには、28ページを参照してください。
 - ・ ソースを切り替えると、デバイスが再生停止時のシーンを記憶します。
 - ・ AUX1またはAUX2を押すと、リモコンのデバイスモードは選定されたデバイスに自動的に変わります。

バックライトの明るさ設定

液晶パネルのバックライトの明るさを切り替え、より見やすくなるように調整できます。

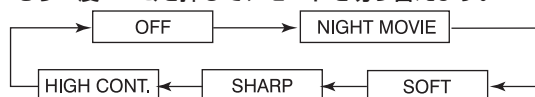
- 1 **DIMMER**を押します。
- 2 **DIMMER**を押すと、OSDはAUTO、LOW、HIGH・・・と順番に変わります。(初期設定: HIGH)



DIMMERレベルの調整については、20ページを参照してください。

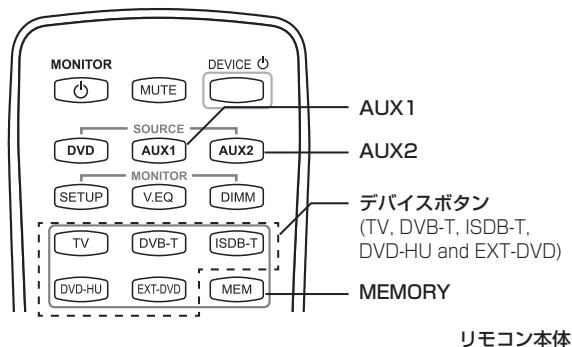
ビジュアルEQの切り替え

- 1 リモコン上で、**V.EQ**を押します。
- 2 もう一度**V.EQ**を押して、モードを切り替えます。



デバイス・コントロール

デバイス・コントロールを押すことによって、リモコンでデバイスモード（TV、DVB-T*、ISDB-T、DVDヘッドユニット、EXT-DVD）を使用できます。



リモコン本体

デバイス・コントロールをメモリに保存する

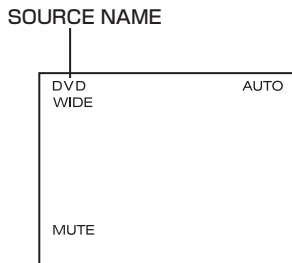
AUX1とAUX2でデバイス機能のメモリができます。デバイスをソース（AUX1またはAUX2）のメモリに保存すると、次にAUX1またはAUX2を押したときに、リモコンがメモリに保存しているデバイスモードに自動的に切り替わります。

- 1 **AUX1またはAUX2**を押します。
- 2 選定したいデバイスを**TV、DVB-T*、ISDB-T、DVDヘッドユニット、EXT-DVD**から選択します。
- 3 **MEMORY**キーを押して、ソースにデバイスを記憶させます。

・上記の各手順をそれぞれ6秒以内に行わないと、OSD（On Screen Display）が自動的に消えます。

リモコンからソース名を選択する

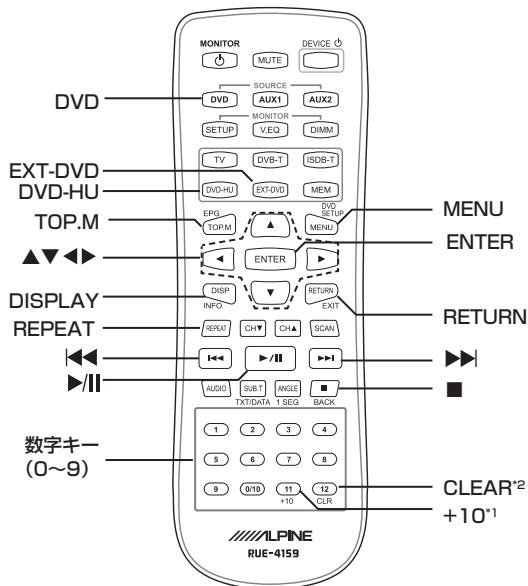
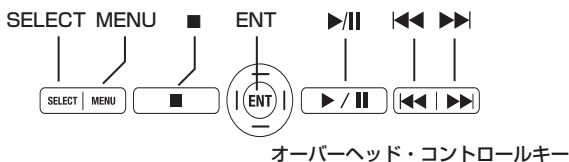
リモコンをモニターに向けながら上記の手順を行うと、セットアップメニューから入力しなくても、OSD上のデバイスソースの名前が自動的に変わります。



* 日本ではご使用できません。

DVD

以下の説明は、DVD、EXT-DVD、DVDヘッドユニットについてです。DVDプレーヤーはCD、CD-R、CD-RWとしても使えます。



リモコン本体

*1 内蔵DVD、EXT-DVD、DVDヘッドユニットでは、+10が利用できません。

*2 内蔵DVD、EXT-DVDでのみ、CLEARを利用できません。

DVD／ビデオCDの再生

注意

- すべての機能があらゆるDVDで操作できるわけではありません。対応機能についての詳細は、個々のDVDの説明書を参照してください。
- ディスクに付いた指紋は再生に悪影響を与えることがあります。問題が生じた場合は、ディスクを取り出し、再生面に指紋が付いていないか確認してください。必要場合は、ディスクを清掃してください。
- リモコンを使う場合は、1回に1つのボタンだけを押し、同時に複数のボタンを同時に押すと、誤作動の原因になります。
- 再生中に電源またはイグニッションキーをOFFに切り替えると、再生を再開したときにOFFにした時点からの再生が始まります。
- （再生するディスクの種類によって）不適切な操作をしようすると、次のマークがモニター画面に表示されます。⓪
- ディスクの種類は、Audio&ScreenメニューのTVシステムの設定に適合していなければなりません。違う種類のディスクを挿入すると、「VIDEO SIGNAL SYSTEM IS NOT CORRECT（ビデオ信号のシステムが正しくありません）」が表示され、再生はできません。

ラベル側を上にしてディスクを挿入してください。

ディスクを入れる場合は、8ページの「ディスクの出し入れ」を参照してください。再生が始まります。

- 両面ディスクDVDの裏面は、自動的に再生されません。ディスクを取り出し、ウラ返して再度、挿入してください。
- ディスクを入れてから再生が始まるまでに少し時間がかかる場合があります。

DVD自動再生

システムメニューのDVD自動再生でAUTOまたはSKIPモードを選択している場合、再生ボタンや入力ボタンを押さなくてもメインムービーが自動的に再生されます。詳細については、20ページを参照してください。

メニュー画面が表示された場合

DVD自動再生がNORMALに設定されていると、DVDやビデオCDでメニュー画面が自動的に表示される場合があります。下記の操作を行って、再生を始めてください。

- 多くのディスクでは、MENUを押すとメニュー画面も表示されることがあります。

DVDメニュー

- ▲、▼、◀または▶を押して、好みの項目を選び、その後、ENTERを押します。

- ディスクによっては、数字キー（0から9まで）を使用して、直接メニュー画面から項目を選択することができます。

ビデオCDメニュー

- 数字キー（0から9まで）を使用して、好みの数字を選択し、その後、ENTERを押してください。

- プレイバックコントロール（PBC）機能をOFFにすると、メニュー画面は表示されません。この場合、VCD PLAY MODEを設定し、プレイバックコントロール（PBC）機能をONにします。詳細については、23ページの「ビデオCD再生モードの設定」を参照してください。

再生の停止（PRE-STOP）

再生中に■を押して、再生を停止します。この位置はメモリに記憶されます。

- 再生中に■を押します。
PRESTOPが表示されます。
- PRE-STOPモードで▶/IIを押します。
再生が停止した位置から始まります。

- ディスクによっては、再生が停止した位置が正確でない場合もあります。

再生の停止

- 再生中に■を2回押します。
STOPが表示され、再生が停止します。

- 再生中に▶/IIを押すと最初から再生が始まります。

早送り／早戻し

- 再生中、◀◀（早戻し）または▶▶（早送り）を長押しします。

ボタンを1秒以上押すと、倍速でディスクを早送り／早戻しをします。
5秒以上押し続けると、ディスクは通常の8倍の速さで早送り／早戻しをします。

- ◀◀または▶▶から指を離し、通常の再生に戻します。

- 早送り／早戻し中に音は出ません。
- ディスクにプレイバックコントロール（PBC）機能が付いている場合は、ビデオCDの早送り／早戻しだけが機能します。
- プレイバックコントロール（PBC）機能付きDVDおよびビデオCDの場合、早送り／早戻し中に、メニュー画面の再表示があります。

CHAPTER / トラックの頭出し

1 再生中に◀◀または▶▶を押す。

CHAPTER / トラックはボタンを押すたびに切り替わり、選択したCHAPTER / トラックの再生が始まります。

- ▶▶：このボタンを押して、次のCHAPTERまたはトラックの最初から再生を開始します。
- ◀◀：このボタンを押して、現在のCHAPTERまたはトラックの最初から再生を開始します。
- ◀◀を繰り返し押して、前のCHAPTERまたはトラックの最初から再生を開始します。

- ・DVDによってはCHAPTERがないものもあります。
- ・プレイバックコントロール (PBC) 機能付きビデオCDでは、トラックの開始点が見つからない場合もあります。VCD PLAY MODEを設定し、PBC機能をOFFにします。詳細については、23ページの「ビデオCD再生モードの設定」を参照してください。



Memo

- 「CHAPTER」は、DVD上の映像や音楽の選択区分です。
- 「トラック」は、ビデオと音楽CDの映像や音楽の選択区分です。

静止 (一時停止) する

1 再生中に▶/IIを押します。

2 ▶/IIを押して、再生を再開します。

- ・静止モードで音は再生されません。
- ・一時停止モードから再生を開始すると、映像や音が一時的に停止することがあります。これは、故障ではありません。
- ・前部座席用コントロールの▶/IIを押すと、青い画面が一時的に表示されます。

フレーム単位の再生

1 一時停止モードで、◀◀または▶▶を押します。

ボタンを押すごとに、画像を1枚ずつ送ったり、戻ったりします。

2 ▶/IIを押すと、通常の再生に戻ります。

- ・フレーム単位の再生中に音は再生されません。
- ・ビデオCDの場合、戻りのフレーム単位の再生は利用できません。

スローモーションの再生

1 一時停止モードで◀◀または▶▶を押し続けると、1/8倍速のスローモーション再生モード・巻戻しスローモーション再生モードになります。さらに5秒間押し続けると、1/2倍速に設定されます。

2 一時停止モードで◀◀または▶▶から指を離して、▶/IIを押すと、再生します。

- ・スローモーション再生モード・巻戻しスローモーション再生モード中には音は再生されません。
- ・スライドショーを再生しているとき、スローモーション再生・巻戻しスローモーション再生は利用できません。
- ・1/2、1/8はおおよその速度です。実際の速度はディスクによって異なります。
- ・ビデオCDの場合、スローモーション再生は利用できません。

タイトル番号による検索 (DVDのみ)

この機能を使用すると、DVDのタイトル番号から簡単に頭出しができます。

1 再生停止中に、数字キー (0から9まで) を使用して再生したいタイトルの番号を入力します。

2 ENTERを押します。

選択したタイトル番号から再生が始まります。

- ・タイトル番号の記録がないディスクでこの機能を使用することはできません。
- ・CLRを押すと、タイトル番号の最後の数字を消すことができます。CLRを2秒以上押し続けると、全てのタイトル番号を消すことができます。
- ・RETURNを押すと、タイトル検索モードを解除し、通常の再生に戻ることができます。
- ・手順2でENTERを押さなくても、2桁のタイトル番号については自動的に再生が始まります。
- ・PRE-STOPの状態では、CHAPTER・トラックの最初から再生が始まります。

CHAPTER番号 / トラック番号による直接検索

この機能を使用すると、ディスク上のCHAPTERまたはトラックの最初に簡単に移動できます。

1 再生またはPRE-STOP中に、数字キー (0から9まで) を使用して好みのCHAPTERやトラックの番号を入力します。

2 ENTERを押します。

選択したCHAPTERまたはトラックから再生が始まります。

- ・タイトル番号の記録がないディスクでこの機能を使用することはできません。
- ・プレイバックコントロール (PBC) 機能の付いたビデオCDでは、トラック番号の最初を直接見つけることはできません。VCD PLAY MODEを設定し、PBCをOFFにします。23ページの「ビデオCD再生モードの設定」を参照してください。
- ・入力桁数によっては、手順2でENTERを押さなくても、自動的に再生が始まる場合もあります。

- ・CLRを押すと、チャプター番号またはトラック番号の最後の数字を消すことができます。CLRを2秒以上押し続けると、「チャプター」と「トラック」番号を消すことができます。
- ・RETURNを押すと、チャプター・トラック検索モードを解除し、通常の再生に戻ることができます。

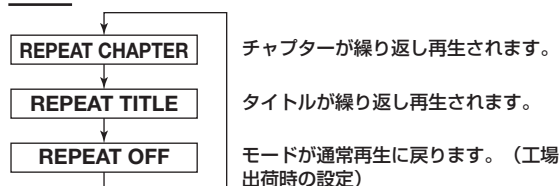
チャプター／トラック／タイトルの繰り返し再生

この機能を使用して、ディスクのタイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生します。

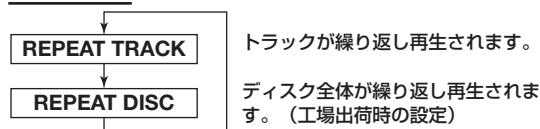
1 再生中にREPEATを押します。

ボタンを押すたびに、リピートモードが切り替わります。

DVD



ビデオCD



- ・トラック／ディスクのリピートモードは、プレイバックコントロール (PBC) 機能付きのビデオCDでは使用できません。VCD PLAY MODEを設定し、PBCをOFFにします。23ページの「ビデオCD再生モードの設定」を参照してください。
- ・ディスクによっては、リピートモードを切り替えることができないものもあります。

オーディオトラックの切り替え

DVDには、最大8個のオーディオトラックがあります。再生中にトラックの切り替えができます。

1 再生中にAUDIOを押します。

ボタンを押すごとに、記録したオーディオトラック間で音が切り替わります。

- ・電源を入れるかまたはディスクを交換するたびに、選択された字幕言語は初期設定の言語になります。ディスクに言語選択がない場合、代わりにディスクの初期設定の言語が選択されます。
- ・再生中、すべてのディスクでオーディオトラックを変更できるわけではありません。変更できない場合は、DVDメニューからオーディオトラックを選択してください。

- ・選択したトラックが再生を始めるまでに少し時間がかかることがあります。

多重音声付ビデオCD

1 再生中にAUDIOを押します。

ボタンを押すごとに、下記のように左右のチャンネルから出力します。

LR→LL→RR→LR

アングルの切り替え (DVDのみ)

複数のアングルから撮影されたシーンの入ったDVDでは、再生中にアングル (角度) を切り替えられます。

1 再生中にANGLEを押します。

ボタンを押すごとにディスクに記録されたアングル間でアングルが切り替わります。

- ・アングルを変更するのに少し時間がかかる場合があります。
- ・ディスクによっては、アングルが2つの方法のうちの1つで切り替わることもあります。
 - ー シームレス：アングルがスムーズに切り替わります。
 - ー ノンシームレス：アングルが切り替わると、静止画像が表示され、その後、アングルが切り替わります。

サブタイトル (字幕言語) の切り替え (DVDのみ)

複数の字幕言語のあるDVDでは、字幕言語を再生中に切り替えたり、または字幕を非表示にしたりすることができます。

1 再生中にSUBTITLEを押します。

字幕言語は、ボタンを押すごとにディスクに記録された言語とOFFの間で切り替わります。

- ・選択された字幕言語が表示されるまでに少し時間がかかる場合があります。
- ・再生中、すべてのディスクで字幕言語を変更できるわけではありません。変更できない場合は、DVDメニューから字幕言語を選択してください。
- ・電源を入れるかまたはディスクを交換するたびに、選択された字幕言語は初期設定の言語になります。ディスクに言語選択がない場合、代わりにディスクの初期設定の言語が選択されます。
- ・ディスクによっては、字幕言語をOFFに設定しても表示される場合があります。



● ディスクメニューからの切り替え

ディスクによっては、音声言語、アングル、字幕言語がディスクメニューから切り替えられます。

- 1 MENU を押し、項目を選択してから、ENT を押します。
- 2 ▲、▼、◀または▶を押して、言語またはアングルを選択し、ENTER を押します。
(ディスクによっては、言語やアングルメニューが表示されている間に数字キー (0 から 9 まで) を使用して選択できます。)

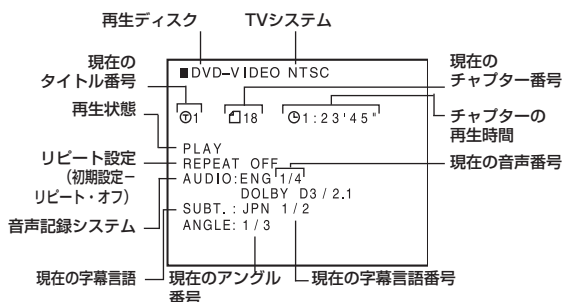
ディスク状態の表示 (DVDのみ)

モニター画面に現在再生中のDVDの状態 (タイトル番号、チャプター番号など) を表示することができます。

1 再生中にDISPLAYを押します。

DISPLAY をもう一度押すと、再生状態の表示が閉じます。

再生状態が表示されます。



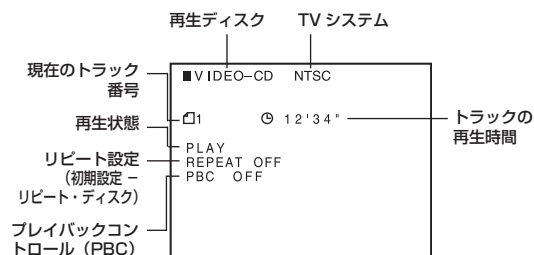
ディスク状態の表示 (ビデオCDのみ)

モニター画面に現在再生中のビデオCDの状態 (トラック番号など) を表示して確認することができます。

1 再生中にDISPLAYを押します。

再生状態が表示されます。

DISPLAY をもう一度押すと、再生状態の表示が閉じます。

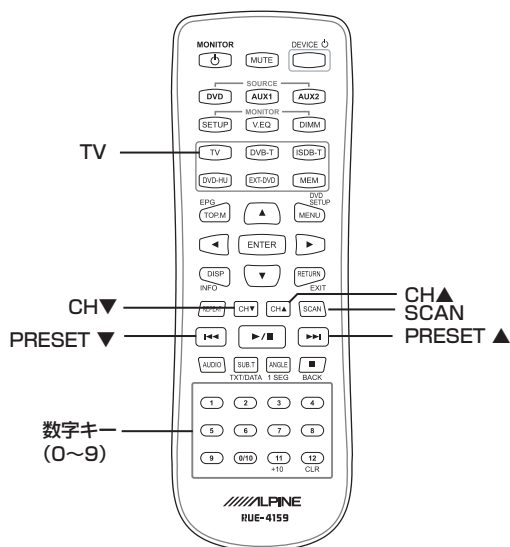


・PBCをONに設定すると、現在のトラック番号とトラック再生時間は表示されません。

TVチューナーのシステムコントロール

別売のアルパイン製TVチューナーをオーバーヘッド・コントロールまたはリモコンから操作するには、システムセットアップでソース名をTVに設定します（→18ページ参照）。10ページのデバイス・コントロールの項を参照してください。

・ 詳細については、アルパインTVチューナー操作マニュアルを参照してください。



リモコン本体

チャンネルの手動検索

オーバーヘッド・コントロール

▲または▼を押して、オーバーヘッド・コントロールで1回に1つのチャンネルを選択します。また、▲または▼を長押しして、次に利用できるチャンネルを検索します。

リモコン

CH▲またはCH▼を押して、リモコンで1回に1つのチャンネルを選択します。また、CH▲またはCH▼を長押しして、次に利用できるチャンネルを検索します。

チャンネルのメモリへの保存

リモコンの**SCAN** またはオーバーヘッド・コントロールの■を押して、全テレビ局のうち受信可能なチャンネルをメモリに保存します。

プリセットチャンネルの選択

オーバーヘッド・コントロール

◀◀または▶▶を押して、オーバーヘッド・コントロールの■によってメモリに保存したプリセットチャンネルを選択します。

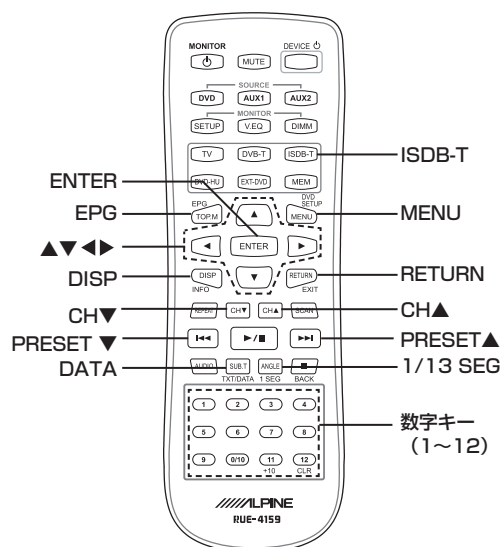
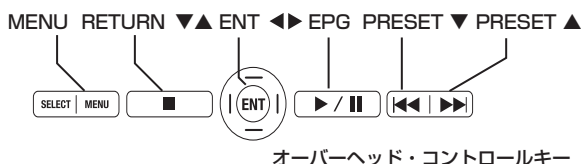
リモコン

◀◀または▶▶を押して、リモコンの**SCAN**によってメモリに保存したプリセットチャンネルを選択します。

ISDB-T (地上デジタル放送)

ISDB-Tは日本でのみ利用できます。別売のアルパイン製地上デジタル放送チューナーをオーバーヘッド・コントロールキーで操作するには、システムセットアップでソース名をISDB-Tに設定します(→18ページ参照)。リモコンでのISDB-Tの設定については、10ページのデバイス・コントロールを参照してください。

・詳細については、地上デジタルテレビチューナーの取扱説明書を参照してください。



DVB-T (日本ではご使用できません)

DVB-Tはヨーロッパでのみ利用できます。

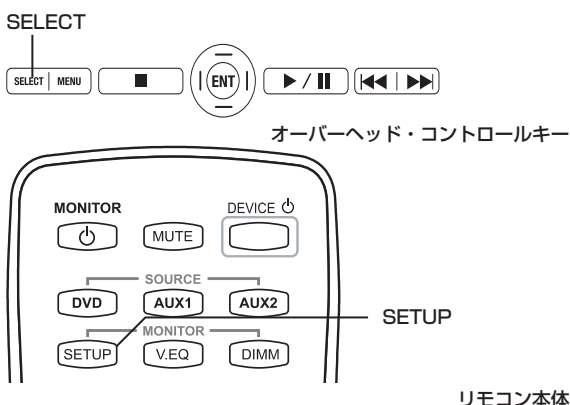
モニターのセットアップ

画像の調整

ビジュアルEQ、明るさ、色の濃さ、色合い、コントラスト、鮮明度を調整することができます。

- ・各ソースは個別に調整できます。
- ・6秒以内に調整しないとOSD (On Screen Display) は自動的に消えます。
- ・調整が行われると、ビジュアルEQはOFFからCUSTOMに設定されます。リセットされるとOFFに戻ります。

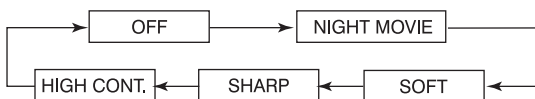
- 1 リモコンの**SETUP**ボタンを押します。または、オーバーヘッド・コントロールの**SELECT**ボタンを2秒以上押し、**SETUP**画面を開きます。PICTURE設定メニューが起動します。



ビジュアルEQの操作

対象画像に最適のモードを選択することができます。

- 2 ビジュアルEQを変えるには、◀または▶を押してください。OSD (On Screen Display) の表示がOFF、NIGHT MOVIE、SOFT、SHARP、HIGH CONT.と順番に変わります。(初期設定：OFF)



ビジュアルEQモード（メーカー設定）選択肢
（ビジュアルEQモード）

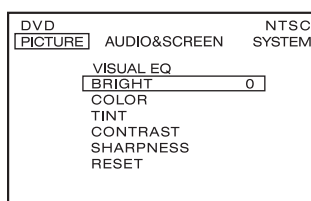
- OFF： ノーマル設定（ビジュアルEQはOFF）
- NIGHT MOVIE： 暗いシーンの多い映像に適しています
- SOFT： CGや動画に適しています
- SHARP： 画像がはっきりしない古い映像に適しています
- HIGH CONT.： 最近の映像に適しています

- ・画像モード（明るさ、色の濃さ、色合い、コントラスト、鮮明度）のいずれかを調整すると、OFFからCUSTOMに変わります。
- ・NIGHT MOVIE、SOFT、SHARP、HIGH CONT.は固定値です。手動で設定することはできません。画像モードを変更すると、自動的にCUSTOMモードに変わります。
- ・OFFモードに戻るには、画像モードのOFFを押すか、または、BRIGHT、COLOR、TINT、CONTRAST、SHARPNESSの値を手動で0に変えます。

- 3 OSD (On Screen Display) が消えるまで6秒かかります。この時点で、調整値は自動的に保存されます。

明るさの調整

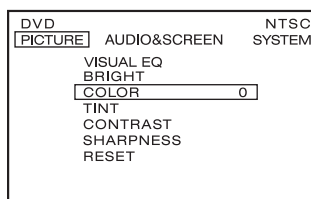
- 2 ▲または▼を押して、BRIGHTを選択します。
- 3 ◀または▶を押して、明るさを調整します。明るさの調整可能範囲は、-15 (MIN) から+15 (MAX) です。



- 4 OSD (On Screen Display) が消えるまで6秒かかります。この時点で、調整値は自動的に保存されます。

色の濃さの調整

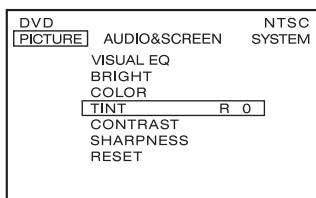
- 2 ▲または▼を押して、COLORを選択します。
- 3 ◀または▶を押して、色の濃さを調整します。色の濃さの調整可能範囲は、-15 (MIN) から+15 (MAX) です。



- 4 OSD (On Screen Display) が消えるまで6秒かかります。この時点で、調整値は自動的に保存されます。

色合いの調整

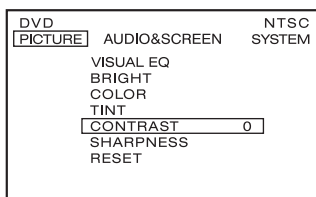
- 2 ▲または▼を押して、TINTを選択します。
- 3 ◀または▶を押して、色合いを調整します。色合いの調整可能範囲は、G15 (GMAX) からR15 (RMAX) です。



- 4 OSD (On Screen Display) が消えるまで6秒かかります。この時点で、調整値は自動的に保存されます。

コントラストの調整

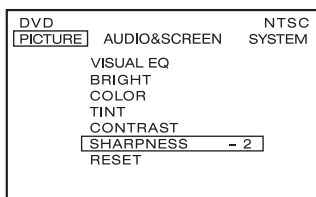
- 2 ▲または▼を押して、CONTRASTを選択します。
 3 ◀または▶を押して、コントラストを調整します。コントラストの調整可能範囲は、-15 (LOW) から +15 (HIGH) です。



- 4 OSD (On Screen Display) が消えるまで6秒かかります。この時点で、調整値は自動的に保存されます。

鮮明度の調整

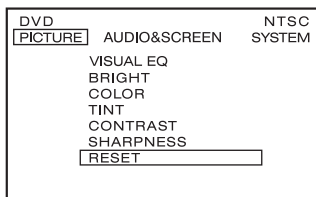
- 2 ▲または▼を押して、SHARPNESSを選択します。
 3 ◀または▶を押して、鮮明度を調整します。鮮明度の調整可能範囲は、-15 (SOFT) から+15 (HARD) です。



- 4 OSD (On Screen Display) が消えるまで6秒かかります。この時点で、調整値は自動的に保存されます。

画像調整のリセット

- 2 ▲または▼を押して、RESETを選択します。



- 3 ◀または▶を押して、画像調整をリセットします。

・6秒以内に◀または▶を押さないと、OSD (On Screen Display) が消え、リセットされません。

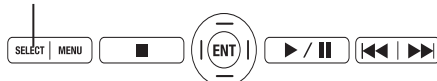
音声と画面の設定

ソースごとにメニューは異なります。ソースの選択によって、設定メニューは変わります。

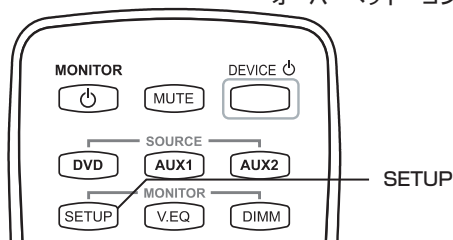
- ・各ソースは個別に調整できます。
- ・6秒以内に調整しないとOSD (On Screen Display) は自動的に消えます。

- 1 **SELECT**を2秒以上押すと、オーバーヘッド・コントロールに**SETUP**メニューが現れます。または、リモコンの**SETUP**ボタンを押します。

SELECT



オーバーヘッド・コントロールキー

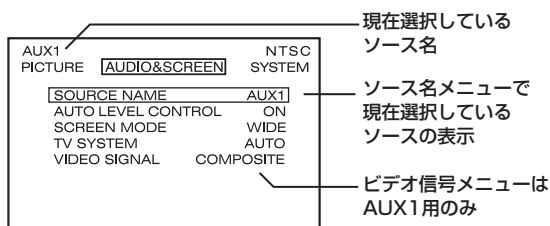


リモコン本体

- 2 **SELECT/SETUP**を押して、**PICTURE**設定メニューから**AUDIO&SCREEN**設定メニューに切り替えます。各項目を変更するには、▲または▼を押します。

ソース名の設定

- 3 ▲または▼を押して、**SOURCE NAME**を選択します。



DVD :

DVDのソース名は変更できません

AUX1 :

◀または▶を押して、AUX1、EX-DVD、DVDヘッドユニット、DVB-T*、ISDB-T、TV、GAME、USERからいずれかを選択します。(初期設定 : AUX1)

AUX2 :

◀または▶を押して、AUX2、EX-DVD、DVDヘッドユニット、DVB-T、ISDB-T、TV、GAME、USERからいずれかを選択します。(初期設定 : AUX2)

* 日本ではご使用できません。

ソース名のカスタマイズ

好みのOSD (On Screen Display) ソース名を6文字以内で変更できます。

4 ◀または▶を押して、USERを選択します。

5 ENTERキーを押します。文字設定メニューが現れます。

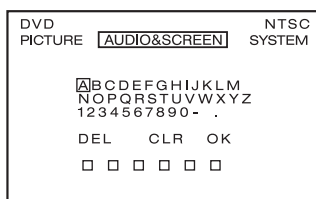
6 ▲、▼、◀、▶とENTERキーを押して、文字の「A からZ」「0から9」「-」、スペース、「.」から選択します。

DEL : 1回に1文字を消します

CLR : 全ての文字を消します

OK : ソース名を確認し、文字設定メニューを終了します。

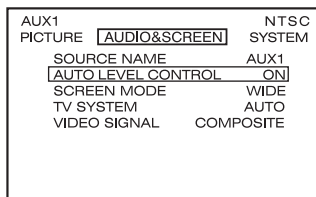
・6秒以内にキーを押さないと、OSD (On Screen Display) が消えて、ソース名は変更されません。



自動レベルコントロールの設定

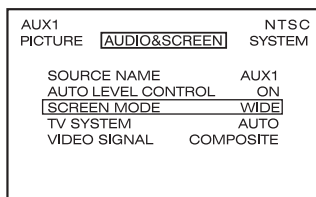
自動レベルコントロールは自動的に音量を調整します。

3 ◀または▶を押して、自動レベルコントロールのONとOFFを切り替えます。(初期設定: ON)



画面モードの設定

画面の表示モードは、ワイド、シネマ、ノーマルのいずれかに調整できます。(初期設定: WIDE)



3 ◀または▶を押して、WIDE、CINEMA、NORMALのいずれかを選択します。



WIDE

ノーマル画像を水平方向に均一に拡大して、スクリーンいっぱいに表示します。



CINEMA

ノーマル画像を縦横方向に拡大します。画像の上下は切り取られます。このモードは16:9のシネマサイズの画像に最適です。



NORMAL

ノーマル画像 (4:3)

4 OSD (On Screen Display) が消えるまで6秒かかります。この時点で、調整値は自動的に保存されます。

TVシステムの設定

放送TVシステムを手動で切り替えます。

3 ◀または▶を押して、AUTO、NTSC、PALのいずれかを選択します。(初期設定: AUTO)

ビデオ信号の設定

3 ◀または▶を押して、CompositeまたはS-Videoのいずれかを選択します。(初期設定: Composite)

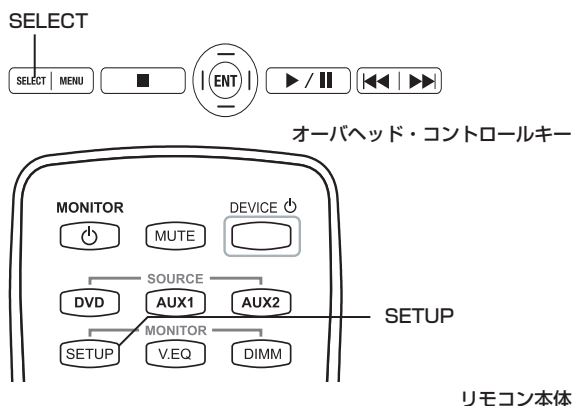
ビデオ信号選択メニューはAUX1のソースのみで利用可能です。

AUX1は、CompositeケーブルまたはS-Videoケーブルのいずれかと接続します。同時に両方のケーブルと接続すると、画面のノイズの原因となります。28ページの「システムの接続例」を参照してください。

システムコントロールの設定

IRトランスミッター、FMトランスミッター、FM周波数、ディマー、警告音は、すべてのソース用に調整できます。

・この調整を行うと全てのソースに反映されます。



1 **SELECT**を2秒以上押し続けて液晶モニターパネルに**SETUP**メニューを表示します。または、リモコンの**SETUP**ボタンを押します。

2 **SELECT/SETUP**を押して、AUDIO&SCREEN設定メニューからSYSTEM設定メニューに切り替えます。

AUX1	AUDIO&SCREEN	NTSC
PICTURE		[SYSTEM]
IR TRANSMITTER	AUX1	
FM MODULATOR	OFF	
FM FREQUENCY	--.MHZ	
DIMMER	AUTO	
DIMMER LO LEVEL	MIN	
BEEP	ON	
DVD AUTO PLAY	NORMAL	
FACTORY DEFAULT		

3 ▲または▼を押して、項目の切り替えを行います。

IRトランスミッターの設定

4 ◀または▶を押してA、B、OFFのいずれかを選択します。（初期設定：A、Bは日本では使用しません）

FMモジュレーターの設定

4 ◀または▶を押してOFF、USA、EUR、JAPANの中からOFFまたはJAPANを選択します。（初期設定：OFF）

FM周波数の設定

4 ◀または▶を押してFMラジオ周波数を選択します。日本の場合は、88.1MHzから90.0MHzの間から選択します。（初期設定：89.1MHz）

ディマーの設定

4 ◀または▶を押してAUTO、LOW、HIGHから選択します。（初期設定：AUTO）

AUTOの場合、輝度センサーから周辺光を検知することによって自動的に液晶バックライトの明るさを調整します。

ディマーの低レベル設定

4 ◀または▶を押してディマーの低レベル選択を0 (min.) と15 (max.) の間から選択します。15 (max.) は、ディマーメニューのHIGHと明るさのレベルが同じです。

警告音の設定

4 ◀または▶を押して、警告音のONとOFFを切り替えます。（初期設定：ON）

DVD自動再生の設定

4 ◀または▶を押して、NORMAL、AUTO、SKIPから選択します。

NORMAL：ユーザーが入力するまでメニュー画面のままです。

AUTO：メニュー画面を6秒間表示した後、映像を再生します。

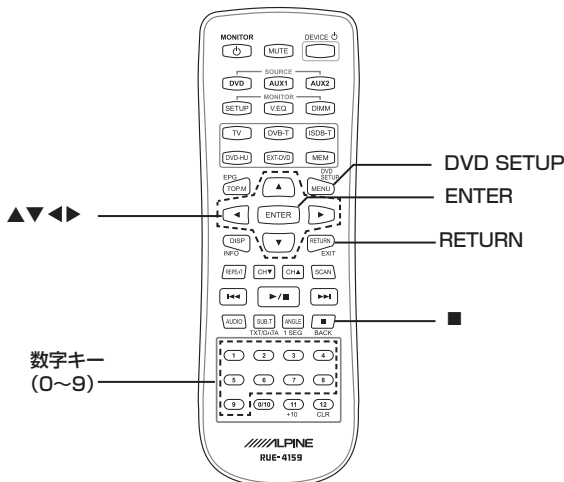
SKIP：すぐに映像を再生します。プレビューとメニューをとばします。

- ・この設定はディスク挿入前または停止モードにあるときのみ利用できます。
- ・SKIPモードにするには、一旦ディスクを取り出してから再度入れる必要があります。（注：アルパインのロゴがモニター画面に表示されている間にディスクを挿入または再挿入した場合、SKIPモードは利用できません。）
- ・この機能を利用できないディスクもあります。

工場デフォルトのリセット

4 **ENTER**キーを押すと、システムは工場出荷時のシステム設定に切り替わります。画像、ビジュアルEQ、表示モードなどの全設定もリセットできます。DVDセッアップ値には反映されません。

DVD のセットアップ



MENUとDVD SETUPは同じボタンです。

リモコン本体

DVDセットアップ操作

以下の1から4の手順はここに記載の各DVD設定値について共通のものです。詳細については、関連項目を参照してください。

- 1 ディスク挿入前または停止モード時に**DVD SETUP**を長押しします。

セットアップメニューがモニターに表示されます。

- 2 ▲または▼を押し、お好みの設定項目を選択してから、**ENTER**を押します。

続きの項目が表示されます。

設定項目：
LANGUAGES、TV SCREEN、COUNTRY CODE、
PARENTAL、DIGITAL OUT、CUSTOM SETUP*1

*1 23ページの「カスタムセットアップ操作」を参照してください。

- 3 ▲または▼を押し、設定項目を切り替えてから、**ENTER**を押します。

- 4 **DVD SETUP**を長押しします。

設定値が保存され、セットアップモードが終了します。

・設定値を変えると、古い設定値に上書きされます。変更前に現在の設定値をメモして控えておいてください。車両のバッテリー接続を切り離すと、設定値が消え、工場出荷時の設定に戻ります。

言語の設定

音声言語、字幕言語、メニュー言語がお好みに応じて設定できます。

一旦設定すると、それが初期設定の言語になります。この機能は、常に英語で聴きたい場合などには便利です。（全てのディスクで初期設定の言語の切り替えができるわけではありません。できない場合は、工場出荷時の言語が適用されます。）

設定項目：LANGUAGE

次の設定項目：AUDIO、SUBTITLE、MENU

AUDIO：

音声トラックの言語を設定します。

SUBTITLE：

画面に表示される字幕言語を設定します。

■SETUP	
LANGUAGES	
AUDIO	AUTO
SUBTITLE	AUTO
MENU	AUTO

MENU：

メニューで使用する言語（タイトル言語など）を設定します。

- 1 ▲、▼、◀、▶を押して、お好みの言語を選択してから**ENTER**を押します。

設定内容：

AUTO*1、ENGLISH、JAPANESE、GERMAN、SPANISH、FRENCH、ITALIAN、PORTUGUESE、RUSSIAN、CHINESE、OTHERS*2

*1 AUTO：

ディスクは、ディスク用の優先言語として設定された音声言語、字幕言語で再生されます。

*2 OTHERS：

これを設定すると、表示されている言語以外の言語でディスクが再生されます。**ENTER**を押してから**数字キー**の0から9を利用して4桁の言語コードを入力します。再度**ENTER**を押します。言語コードについては、29ページの「言語コード表」を参照してください。

・ディスクが入っている状態で言語設定を変更した場合、以下の作業を行うと、設定が決定されてしまいます。

- ー ディスク取り出し
- ー メイン装置の電源OFF

・現在のディスクの言語を一時的に変更するには、DVDメニューから変更するか、または、13ページの「オーディオトラックの切り替え」を参照して変更してください。

・ディスクに選択した言語がない場合、ディスクの初期設定の言語が設定されます。

・工場出荷時に設定された言語：

音声言語：AUTO
字幕言語：AUTO
メニュー言語：AUTO

・RETURNを押して直前の画面表示に戻します。

TV画面の設定

ご使用のTVモニターの種類に応じて下記の手順を使用し
て出力画面を設定してください。

設定項目：TV SCREEN

設定内容：16:9 (WIDE)、4:3 (LB)、4:3 (PS)

- ・ディスクによっては、画像を選択画面サイズに設定できない場合もあります。（詳細については、ディスクジャケットの説明を参照してください。）
- ・RETURNを押して直前の画面表示に戻します。

16:9 WIDE

ワイド画面TVに接続するときに選択してください。工場出荷時は、16:9に設定されています。



4:3 LB (LETTER BOX)

従来の4:3サイズ（標準TVのアスペクト比）モニターに接続するときに選択してください。（16:9サイズの映画を再生すると）画面の上下に黒帯が見えることがあります。この帯の幅は映画の劇場公開時のアスペクト比に準じます。



4:3 PS (PAN-SCAN)

従来の4:3サイズモニターに接続するときに選択してください。画像はTV画面全体に映ります。しかし、アスペクト比が合わないため、（16:9サイズの映画を再生すると）左右端が見えなくなります。



国名コードの設定

評価レベル設定を行いたい国の番号を設定します（ペアレンタルロック）。

設定項目：COUNTRY CODE

設定内容：CODE

- 1 ▲または▼を押し、COUNTRY CODEを選択してから、ENTERを押します。

COUNTRY CODEをリセットします。

COUNTRY CODE - - - -

- 2 数字キーの0から9を利用して4桁の国名コードを入力しENTERを押します。

例：日本の場合7465を入力します

COUNTRY CODE 7465

- ・入力コードが間違っていると、5秒間CODE ERRORが表示されてから、国名コード入力画面に戻ります。
- ・国名コードについては、29ページの「言語コード表」

を参照してください。

- ・CLRを押すたびに一文字ずつ消去できます。CLRを2秒以上押し続けると、全ての文字を消去できます。
- ・RETURNを押して直前の画面表示に戻します。

評価レベルの設定（ペアレンタルロック）

この機能を使用すると、お子様の年齢に応じた映像のみが見られるようになります。

設定項目：PARENTAL

設定内容：PASSWORD

- 1 ▲または▼を押し、PARENTALを選択してから、ENTERを押します。

パスワード入力モードになります。

- 2 数字キーの0から9を利用して4桁のパスワードを入力しENTERを押します。

PASSWORD * * * *

入力した数値は*で表示されます。

工場出荷時のパスワードは1111です。

視聴制限レベル（ペアレンタルロック）入力画面が現れます。

- ・CLRを押すたびに一文字ずつ消去できます。CLRを2秒以上押し続けると、全ての文字を消去できます。
- ・RETURNを押して直前の画面表示に戻します。
- ・パスワードが間違っていると、5秒間PASSWORD ERRORが表示されます。その後、パスワード入力画面に戻ります。

- 3 ▲、▼、◀または▶を押し、評価レベル（1から8）を選択してから、ENTERを押します。

■SETUP

PARENTAL

OFF

8 7 6 5 4 3 2 1

CHANGE PASSWORD

評価レベルを設定したくない場合は、OFFを選択して視聴制限を解除します。
数値が小さいほど、評価レベルは高くなります。

- ・RETURNを押して直前の画面表示に戻します。

- 4 DVD SETUPを押します。

設定値が保存され、セットアップモードが消えます。

- ・パスワードを変更したい場合はCHANGE PASSWORDを選択してから新しいパスワード（4桁）を入力します。
- ・パスワードは忘れないようにメモなどをして、保管しておきます。
- ・評価されていないDVDの場合は、評価レベルを設定して

も、制限されずに再生されます。

- 一度設定すると、変更するまでこの評価は保持されます。評価レベルの高いディスクを再生したり、ペアレンタルロックを解除するためには、設定を変更してください。
- 全てのDVDにペアレンタルロックの機能があるわけではありません。ペアレンタルロック機能があるかどうか、まずご確認ください。お子様には不適切だと思われるDVDは、お子様の手の届くところに放置しないでください。



●評価レベルの一時解除

ディスクによっては、再生中にデフォルト設定の評価レベルを変更するように要求するものがあります。このような場合は、モニター画面にPARENTAL LEVEL CHANGE OK? (視聴制限レベルの変更をしてもよろしいですか?) というメッセージを表示します。

●視聴制限レベルを変更して再生するには、**ENTER**を押します。

パスワード入力モードが表示されます。「評価レベル (ペアレンタルロック) の設定」に4桁のパスワードを入力し、ENTERを押します。

●視聴制限レベルを変更せずに再生するには、**■**を押します。

■を押すと、「評価レベル (ペアレンタルロック) の設定」で設定した視聴制限レベルで再生されます。

デジタル出力の設定

本機では、デジタル出力を利用できません。設定を変えても再生に反映されません。

カスタムセットアップ操作

以下の1から5の手順は各モードの設定値について共通のものです。CUSTOM SETUPメニューからモードを選択し、詳細については、関連項目を参照してください。

1 ディスク挿入前または停止モード時に**DVD SETUP**を長押しします。

セットアップメニューがモニターに表示されます。

■SETUP

LANGUAGES
TV SCREEN 16:9 (WIDE)
COUNTRY CODE US-8583
PARENTAL OFF
DIGITAL OUT
CUSTOM SETUP

2 ▲または▼を押し、CUSTOM SETUPを選択してから、**ENTER**を押します。

3 ▲または▼を押し、お好みの設定項目を選択してから、**ENTER**を押します。

CUSTOM SETUP項目

CD PLAY MODE、VCD PLAY MODE、PAUSE MODE、DOWNMIX MODE

■SETUP

CUSTOM SETUP

CD PLAY MODE COMPRESS
VCD PLAY MODE PBC ON
PAUSE MODE AUTO
DOWNMIX MODE SURROUND

4 ▲または▼を押し、設定項目を切り替えてから、**ENTER**を押します。

5 **DVD SETUP**を長押しします。

設定値が保存され、セットアップモードが終了します。

- RETURNを押して直前の画面表示に戻します。
- 設定値を変えると、古い設定値に上書きされます。変更前に現在の設定値をメモして控えておいてください。車両のバッテリー接続を切り離すと、設定値が消え、工場出荷時の設定に戻ります。

CD再生モードの設定

音楽データを含むディスク上の音声データのみを再生することができます。

設定項目：CD PLAY MODE

設定内容：CD-DA* / COMPRESSED AUDIO

*CD-DA：CDデータのみを再生できます。工場での初期設定はCD-DAです。

- 本機では、圧縮音声には対応していません。この設定は変更しないでください。

ビデオCD再生モードの設定

プレイバックコントロール (PBC) 機能を利用できるビデオCDを再生するときに、PBCのONとOFFを切り替えることができます。

設定項目：VCD PLAY MODE

設定内容：PBC ON / PBC OFF

PBC ON：PBCメニューを表示します。

PBC OFF：PBCメニューを表示しません。工場出荷時の初期設定はPBC ONです。

一時停止モードの設定

一時停止モードで、画面がぶれる場合があります。これを防ぐには、適宜AUTO、FIELD、FRAMEを設定してください。

設定項目：PAUSE MODE

設定内容：AUTO / FIELD / FRAME

一時停止モード時にぶれを体験した場合は、FIELDかFRAMEを設定してください。
工場出荷時の初期設定はAUTOです。

Downmixモードの設定

この機能は、Dolby Digital、DTSストリームサウンドに適用します。

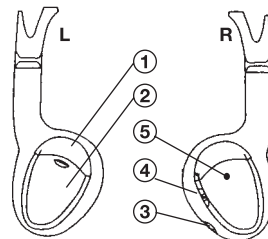
設定項目：Stereo Downmix

設定内容：サラウンド対応Downmix

工場出荷時の初期設定はSURROUNDED ENCODEDです。

ワイヤレスヘッドホン

ヘッドホン・レシーバー



- 1) IRセンサー（トランスミッターから信号を受信）
- 2) 電池カバー
- 3) 音量調節器
- 4) 電源スイッチ
- 5) 電源ランプLED

操作

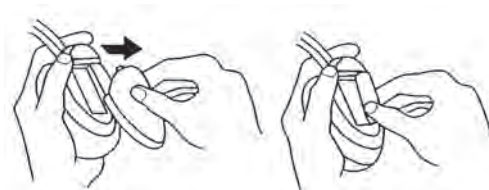
ヘッドホンを壊したり、耳を傷つけたりすることがないように、よくお読みください。

警告：ヘッドホンを外して音量をできるだけ小さくしてから、電源を入れてください。

- 1) ヘッドホンに正しく電池が入っていることを確認してください。
- 2) ヘッドホンの音量を最低レベルにしてから、ヘッドホンを耳に装着し、その後、電源を入れてください。
- 3) ヘッドホンの電源を入れ、ヘッドホンの音量を適切なレベルに調節してください（必要に応じて音声ソースの音量を上げることもできます）。

電池の挿入

単4電池2本をヘッドホンの電池ボックスに入れ、電池の＋が正しいことを確認します。





取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前に、以下の記載事項をお読みください。また、本機を正しくお使いいただくために、1~4ページをよくお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。
火災・故障を招く恐れがあります。



DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災等の原因になります。



強制

バッテリーのマイナス端子からコードを外してから、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コード類は運転操作の妨げとならないように束ねるか、説明書に従って配線やコードを正しく接続してください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故・故障の原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。電流負荷容量を超えてしまうので、火災・感電の原因になります。



禁止

取り付け時に車台に穴を開けるとときには、配管・燃料ライン・タンク・電気配線への接触・損傷・妨害を起こさないように注意してください。火災の原因になります。



禁止

ブレーキ・ステアリングシステム（または他の安全関連システム）・タンクに使用したボルトやナットは、取り付けやアース接続に絶対に使用しないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

電池などの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所には、取り付けを行わないでください。事故の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全に行うために、必ずお買い上げ店に依頼してください。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因となります。



禁止

配線のねじれや損傷を防ぐため、コードや配線はシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。配線が金属の穴を通っている場合は、穴の金属端部で線の被覆が切断されないようにゴム製のとめ金を使用してください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



湿気やホコリ多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

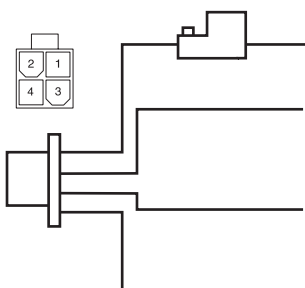
取り扱い上のご注意

- ・ お買い上げのPKG-2000を取り付ける前に、必ずバッテリーのマイナス端子からコードを外してください。短絡時に本機が損傷しにくくなります。
- ・ 配線図に従って、必ず色分けしたリード線を接続してください。接続が正しくないと、本機の誤作動や車両電気系統の故障の原因になります。
- ・ 車両の電気系統に接続する場合は、工場取り付け部品（車上コンピュータ）をご確認ください。これらのリード線で本機に送電しないでください。PKG-2000をヒューズボックスに接続する場合は、PKG-2000の目的の回路のヒューズが適切なアンペア値であることを確認してください。アンペア値が正しくないと、本機や車両の損傷につながる場合があります。疑いがある場合は、アルパイン販売店にご相談ください。
- ・ PKG-2000は、RCAコネクタのある他の装置（増幅器など）への接続に雌RCA型ジャックを使用しています。他の装置へ接続するには、アダプタが必要になる場合があります。その場合は、アルパインのお問い合わせ窓口にご相談ください。

接続図

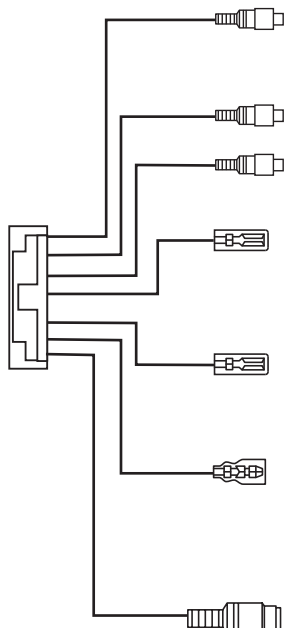
アルパインのPKG-2000（モニター部）が適切に作動するためには、以下の電源接続が必要です。

電源コネクタ



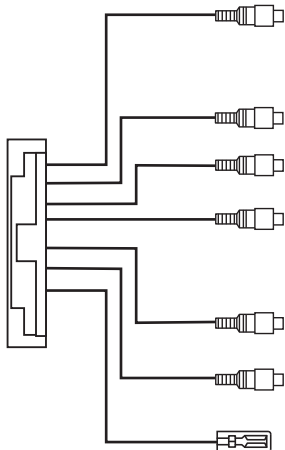
黄	BATT バッテリー電源コード このリード線を車両バッテリーのプラス端子に接続します。
赤	ACC ACC 電源コード このコードを ACC 電源コードに接続します。（切り替え、イグニッション）
黒	GND アースコード このコードを車両のアースコードに接続します。
緑	DOOR ドアコード このコードを車両のルームランプスイッチからのケーブルに接続します。→ 29 ページ参照

AVコネクタ1 (AUX1)



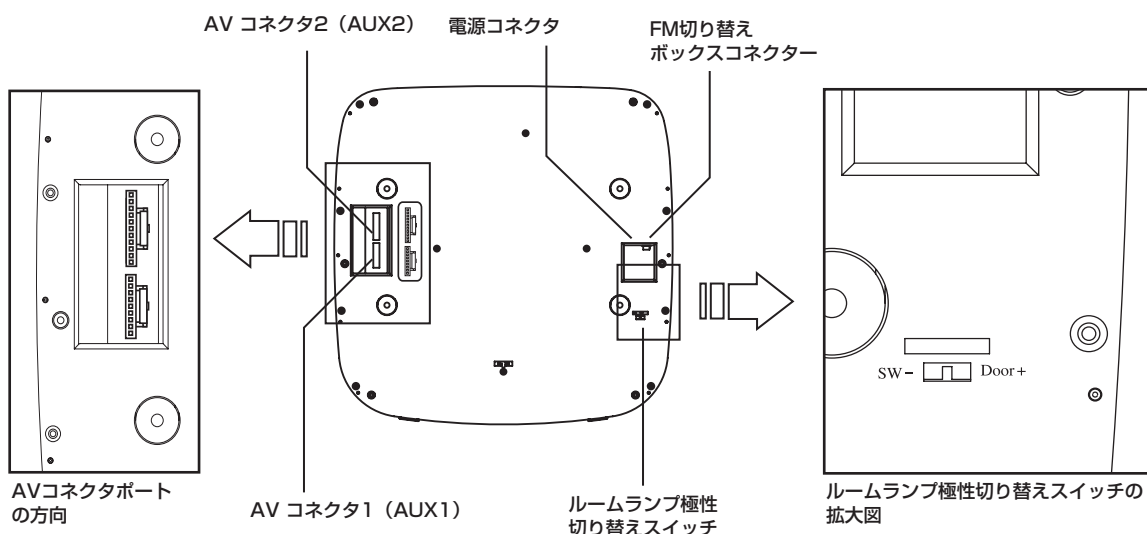
黄	AUX IN 1 (VIDEO) ビデオ入力コネクタ このコネクタは、他のビデオ製品のビデオ入力装置（AV ヘッドユニットや TV チューナー）と組み合わせて使用します。
白（左） 赤（右）	AUX IN 1 (AUDIO L/R) 音声入力コネクタ このコネクタは、音声出力コネクタ付きのヘッドユニットや TV チューナーと組み合わせて使用します。
青／白	POWER CONTROL (+12V) このコードをアルパインビデオ製品の ACC 電源コード（赤）に接続します。本機とアルパインビデオ製品の ON/OFF を連動させます。
白／茶	REMOTE OUT (AUX1) AUX1 に対応。アルパインの DVD プレーヤー、TV チューナー、DVD ヘッドユニットのいずれかを操作するために、それぞれのリモコン入力コードに接続してください。
白／茶	REMOTE IN アルパインの PKG-2000、DVD プレーヤー、TV チューナーのいずれかを車両の前部にある DVD ヘッドユニットまたは液晶モニターから操作するために、このコードをアルパイン DVD ヘッドユニットまたは液晶モニターのリモート出力コードに接続してください。
青／茶	S-VIDEO S ビデオ入力 RCA ビデオ入力と S ビデオ入力を同時に使うことはできません。画面上のノイズの原因となります。19 ページのビデオ信号設定を参照してください。

AVコネクタ2 (AUX2)



黄	AUX OUT (VIDEO) ビデオ出力コネクタ このコネクタは他のビデオ製品のビデオ入力装置（AV ヘッドユニットや液晶ユニット）と組み合わせて使用します。
白（左） 赤（右）	AUX OUT (AUDIO L/R) 音声出力コネクタ このコネクタは、音声出力コネクタ付きのヘッドユニットや液晶モニターと組み合わせて使用します。
黄	AUX IN2 (VIDEO) ビデオ入力コネクタ このコネクタは、他のビデオ製品のビデオ入力装置（AV ヘッドユニットや TV チューナー）と組み合わせて使用します。
白（左） 赤（右）	AUX IN2 (AUDIO L/R) 音声入力コネクタ このコネクタは、音声出力コネクタ付きのヘッドユニットや TV チューナーと組み合わせて使用します。
白／茶	REMOTE OUT (AUX2) AUX2 に対応。アルパインの DVD プレーヤー、TV チューナー、DVD ヘッドユニットのいずれかを操作するために、それぞれのリモコン入力コードに接続してください。

取り付け側



ルームランプの接続

ルームランプの接続は内蔵ルームランプを車両のルームランプスイッチからのケーブルに接続します。

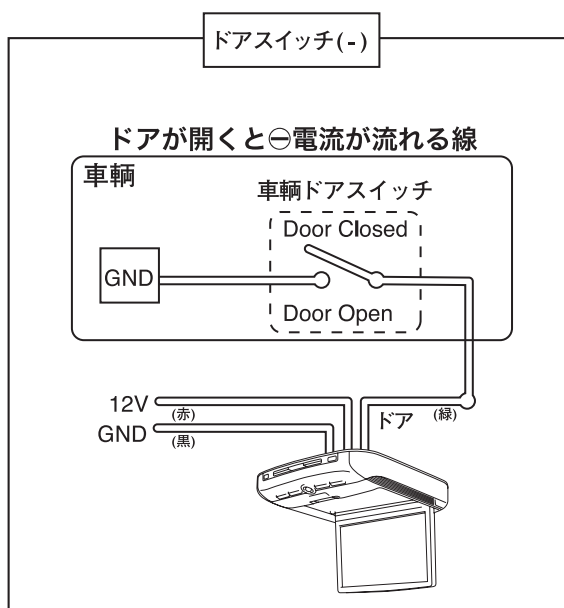
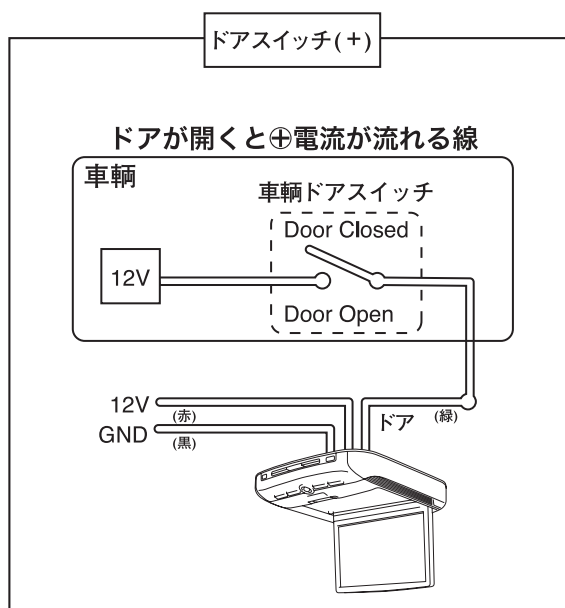
極性切り替えスイッチは、ヘッドライナーに取り付ける上部表面にあります。

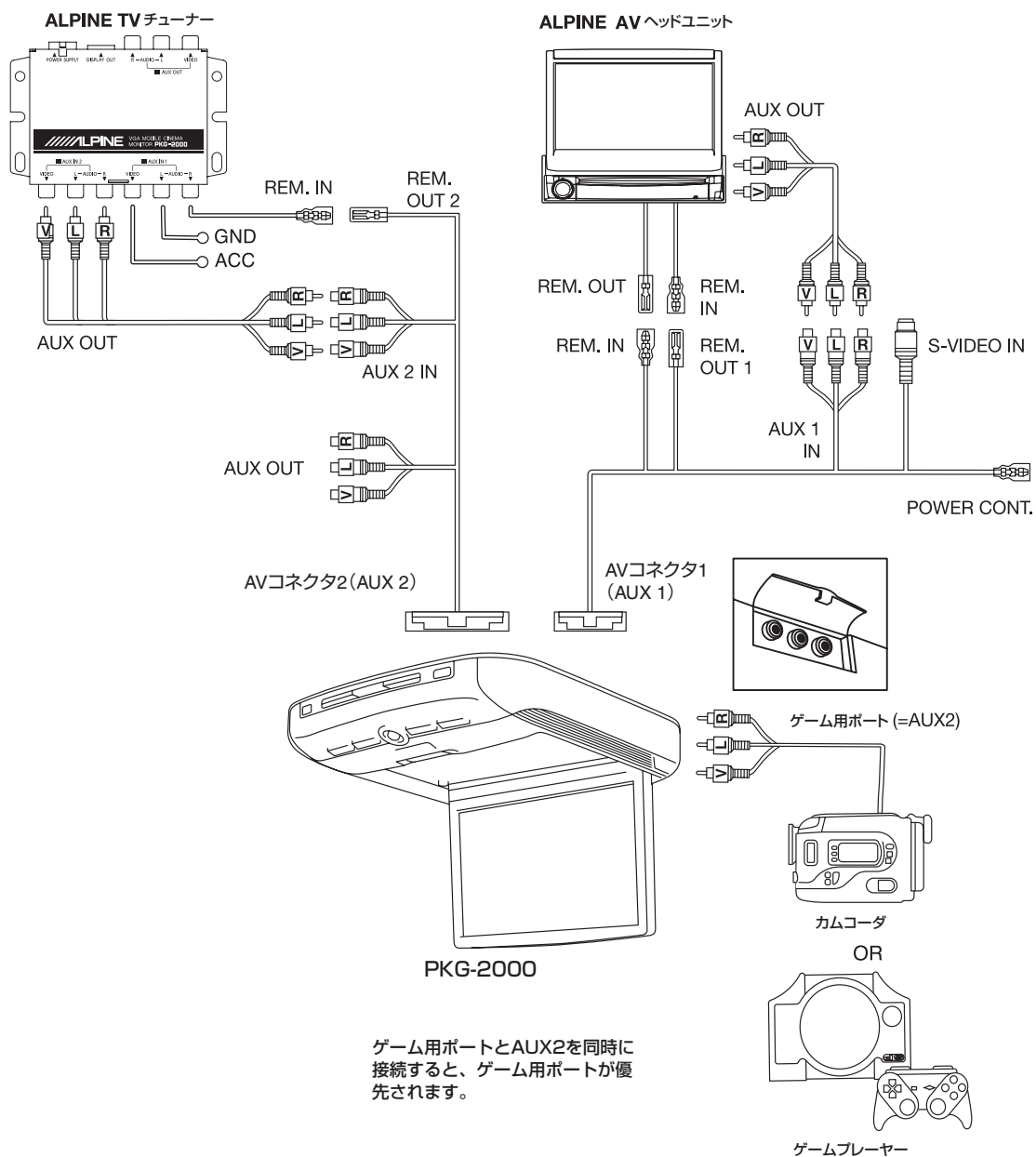
車両ドアの極性は、車両の種類によります。極性は「ドアスイッチ極性」のスイッチで変更できます。

(デフォルト：－スイッチシステム)

極性＋：ドアが開いている場合、ドアの信号は12Vとなります。

極性－：ドアが開いている場合、ドアの信号はGNDとなります。





その他

言語コード表

(詳しくは、22ページをご覧ください。)

記号	コード	言語	記号	コード	言語	記号	コード	言語
AA	6565	アフガル語	IN	7378	インドネシア語	SA	8365	サンスクリット語
AB	6566	アブバジア語	IS	7383	アイスランド語	SD	8368	シンド語
AF	6570	アフリカーンス語	IT	7384	イタリア語	SG	8371	サンゴ語
AM	6577	アムハラ語	IW	7387	ヘブライ語	SH	8372	セルビアクロアチア語
AR	6582	アラビア語	JA	7465	日本語	SI	8373	シンハラ語
AS	6583	アッサム語	JI	7473	イディッシュ語	SK	8375	スロバキア語
AY	6589	アイマラ語	JW	7487	ジャワ語	SL	8376	スロベニア語
AZ	6590	アゼルバイジャン語	KA	7565	グルジア語	SM	8377	サモア語
BA	6665	バシキール語	KK	7575	カザフ語	SN	8378	ショナ語
BE	6669	ベラルーシ語	KL	7576	グリーンランド語	SO	8379	ソマリ語
BG	6671	ブルガリア語	KM	7577	カンボジア語	SQ	8381	アルバニア語
BH	6672	ビハーリー語	KN	7578	カンナダ語	SR	8382	セルビア語
BI	6673	ビスラマ語	KO	7579	韓国語	SS	8383	シスワティ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語	KS	7583	カシミール語	ST	8384	セストツ語
BO	6679	チベット語	KU	7585	クルド語	SU	8385	スンダ語
BR	6682	ブルトン語	KY	7589	キルギス語	SV	8386	スウェーデン語
CA	6765	カタロニア語	LA	7665	ラテン語	SW	8387	スワヒリ語
CO	6779	コルシカ語	LN	7678	リンガラ語	TA	8465	タミール語
CS	6783	チェコ語	LO	7679	ラオス語	TE	8469	テルグ語
CY	6789	ウェールズ語	LT	7684	リトアニア語	TG	8471	タジク語
DA	6865	デンマーク語	LV	7686	ラトビア語、レット語	TH	8472	タイ語
DE	6869	ドイツ語	MG	7771	マダガスカル語	TI	8473	ティグリニャ語
DZ	6890	ブータン語	MI	7773	マオリ語	TK	8475	トゥルクメン語
EL	6976	ギリシャ語	MK	7775	マケドニア語	TL	8476	タガログ語
EN	6978	英語	ML	7776	マラヤーラム語	TN	8478	セツワナ語
EO	6979	エスペラント語	MN	7778	モンゴル語	TO	8479	トンガ語
ES	6983	スペイン語	MO	7779	モルダビア語	TR	8482	トルコ語
ET	6984	エストニア語	MR	7782	マラータ語	TS	8483	ツォンガ語
EU	6985	バスク語	MS	7783	マレー語	TT	8484	タタル語
FA	7065	ペルシャ語	MT	7784	マルタ語	TW	8487	トウィ語
FI	7073	フィンランド語	MY	7789	ミャンマー語	UK	8575	ウクライナ語
FJ	7074	フィジー語	NA	7865	ナウル語	UR	8582	ウルドゥー語
FO	7079	フェロー語	NE	7869	ネパール語	UZ	8590	ウズベク語
FR	7082	フランス語	NL	7876	オランダ語	VI	8673	ベトナム語
FY	7089	フリジア語	NO	7879	ノルウェー語	VO	8679	ボラビュク語
GA	7165	アイルランド語	OC	7967	プロバンス語	WO	8779	ウォロフ語
GD	7168	スコットランドゲール語	OM	7977	(アフアン) オロモ語	XH	8872	コーサ語
GL	7176	ガルシア語	OR	7982	オリヤー語	YO	8979	ヨルバ語
GN	7178	グアラニ語	PA	8065	パンジャブ語	ZH	9072	中国語
GU	7185	グジャラート語	PL	8076	ポーランド語	ZU	9085	ズール語
HA	7265	ハウサ語	PS	8083	パシュトー語			
HI	7273	ヒンディー語	PT	8084	ポルトガル語			
HR	7282	クロアチア語	QU	8185	ケチュア語			
HU	7285	ハンガリー語	RM	8277	ラエティ＝ロマン語			
HY	7289	アルメニア語	RN	8278	キルンディ語			
IA	7365	国際語	RO	8279	ルーマニア語			
IE	7369	国際語	RU	8285	ロシア語			
IK	7375	Inupiak語	RW	8287	キニヤルワンダ語			

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

→ 接続・配線は正しく行われていますか？

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

→ それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（35ページ）にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は下表を参照しながら処置を行ってください。

電源が入らない

- ・ エンジンがかかかっていないか、キーポジションがACCになっていませんか。
 - エンジンをかけるかキーポジションをACCにしてください。
- ・ ヒューズが入っていないか断線しています。
 - ヒューズを入れるか原因を確かめてからヒューズを交換してください。
- ・ 接続が不完全です。
 - 接続を確認してください。
- ・ 車のバッテリーが上がっています。
 - バッテリーを確認してください。

画像が現れない場合または不鮮明な場合

- ・ 明るさのコントロールが最小値に設定されています。
 - 明るさを調整してください。
- ・ モードの設定が誤っています。
 - 正しいモードに切り替えてください。
 - ソースユニットへの接続を確認してください。
 - ソースユニットの電源を確認してください。
- ・ モニター、AVインターフェースユニットとの接続が不適切または接続されていません。
 - 接続を確認して、直してください。
- ・ モニターがご希望のモードに切り替わっていません。
 - 見たいモードに切り替えてください。
- ・ モニターのパーキング・ブレーキ・コードが接続されていないか、かかっています。
 - モニターパーキング・ブレーキ・コードを接続し、パーキング・ブレーキをかけてください。（詳細については、モニターの説明書をご覧ください。）
- ・ ディスクの早送りまたは早戻し中です。
 - 画像が多少乱れることはありますが、故障ではありません。
- ・ 車両のバッテリー電源が低下しています。
 - バッテリー電源および配線を確認してください。（負荷状態で11ボルトを下回ると、誤作動の原因となります。）
- ・ モニターの蛍光灯が切れています。
 - モニターの蛍光灯を交換してください。

画面がブルーバックになる

- ・ 本機とソースユニットとの接続が不適切または接続されていません。
 - 接続を確認して、直してください。
- ・ 本機に接続したTVチューナーが放送を受信していない、または受信感度が悪い。
 - 放送を受信できる場所に車を移動して下さい。

画像の色が薄い場合

- ・ 明るさ、色の濃さ、色合い、コントラスト、鮮明度のコントロールが正しい位置に設定されていません。
 - 各コントロールを調整してください。

画像の動きが悪い

- ・ 車室内の温度が低い。
 - 車室内の温度を常温にしてください。

画像に斑点やしま模様が出る

- ・ ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響などが原因です。
 - 妨害電波を受けない場所に車を移動してください。

付属のワイヤレスリモコンが働かない

- ・ リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があります。
 - 障害物を取り除いてください。
- ・ リモコンの乾電池の⊕と⊖極が、正しく入っていません。
 - ⊕と⊖極を正しく入れてください。
- ・ 乾電池そのものの寿命。
 - 新しい乾電池に交換してください。

演奏が始まらない／音が飛ぶ／音が歪む／早送り／早戻しができない

- ・ ディスクの再生音が振動で飛ぶ場合は、本機の取り付けが不適切です。
 - しっかりと本機を取り付けてください。
- ・ ディスクユニットに結露があります。
 - しばらく放置（1時間程度）してから使ってください。
- ・ ディスクがひどく汚れています。
 - ディスクをきれいにしてください。
- ・ ディスクに傷があります。
 - ディスクを交換してください。
- ・ ピックアップレンズが汚れています。
 - 市販のクリーナーディスクは使用しないでください。お問い合わせ窓口にご相談ください。
- ・ ディスクが破損しています。
 - ディスクを取り出し、他のディスクを再生してみてください。破損したディスクを使用すると、本機の故障の原因となります。

ディスクがうまく挿入できない場合

- ・ ディスクが既にDVDプレーヤーに入っています。
 - ディスクを取り出してください。
- ・ ディスクの挿入が適切ではありません。
 - 「ディスクの出し入れ」の項目に従って、ディスクを挿入しなおしてください。

CD-R/CD-RWの再生ができない場合

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていません。
 - クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、もう一度再生してみてください。

エラーが表示される場合

- 機械的エラー
 - ▲を押してください。エラー表示が消えた後で、ディスクをもう一度挿入してください。上記の方法で問題が解決しない場合は、お問い合わせ窓口にご相談ください。

本機が作動しない場合

- モニターの電源が入っていません
 - モニターの電源を入れてください。
- 結露があります
 - しばらく放置（1時間程度）してから使ってください。

再生が始まらない場合

- ディスクの裏表を反対に挿入しています。
 - ディスクを点検し、ラベル側を上に向けて挿入してください。
- ディスクが汚れています。
 - ディスクをきれいにしてください。
- 本機で再生できないディスクが挿入されています。
 - ディスクが再生できるものかどうかを確認してください。
- ペアレンタルロック（視聴制限）が設定されています。
 - ペアレンタルロックを解除するか、規制レベルを変更してください。
- セットアップメニューが表示されています。
 - **SETUP**ボタンを押して、メニューを閉じてください。

画像がまれに停止する場合

- ディスクに傷があります。
 - 傷のないディスクと交換してください。



●液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

製品の改良のために、規格・外観は予告なく変更することがあります。

メッセージが表れたら

DISC ERROR

●メカニズムエラー

- ①▲を押して、ディスクを取り出します。
ディスクが取り出せない場合は、▲を3秒以上押し続けてディスクを取り出します。それでもディスクを取り出せない場合は、修理ご相談窓口へご相談ください。
 - ②ディスクを取り出した後もエラー表示が消えない場合、▲をもう一度押してください。
 - ③何度▲を押してもエラー表示が消えない場合は、修理ご相談窓口へ相談ください。
- 車内温度が低すぎます。
 - ・車内の温度を通常の温度まで上げてください。

NO DISC

- ディスクが入っていません
 - ・ディスクを入れてください。
- ディスクは入っていますが、NO DISCと表示され、再生を開始したりディスクを取り出すことができません。
 - ・▲を3秒以上押し続けてディスクを取り出します。



- リモコンの操作ができません。
 - ・ディスクや再生モードによっては、禁止している操作があります。これは誤動作ではありません。

REGIONAL CODE VIOLATION

- ディスクの地域コード番号が一致していません。
 - ・地域コード番号が対応しているディスクを入れてください。

HI-TEMP

- 高温で保護回路が作動しています。
 - ・温度が作動範囲内に戻ると表示が消えます。
 - ・温度が下がるまで電源をOFFにし、車内温度が常温まで下がったら、もう一度ONにします。

LOADING ERROR

EJECT ERROR

●メカニズムエラー

- ①▲を押して、ディスクを取り出します。
ディスクが取り出せない場合は、▲を3秒以上押し続けてディスクを取り出します。それでもディスクを取り出せない場合は、修理ご相談窓口へご相談ください。
- ②ディスクを取り出した後もエラー表示が消えない場合、▲をもう一度押してください。
- ③何度▲を押してもエラー表示が消えない場合は、修理ご相談窓口へ相談ください。

VIDEO SIGNAL SYSTEM IS NOT CORRECT

- PAL対応のディスクが入っています。
 - ・NTSC対応のディスクを入れてください。

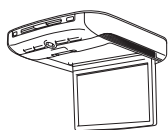
付属品

付属品の確認

内蔵 DVD オーバーヘッドモニター

RUE-4159 ユニバーサルリモコン

SHS-N100 シングルソース・ワイヤレス IR ヘッドホン



X 1

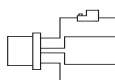
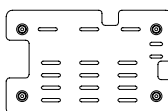
X 1

X 1

取り付けブラケット*1

トリムリング*2

電源コネクタ



X 1

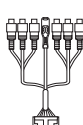
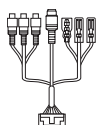
X 1

X 1

AV コネクタ 1

AV コネクタ 2

FM 切り替えボックス



X 1

X 1

X 1

ねじ M4 X 8
(取り付けブラケット用)

ねじ M3 X 8
(トリムリング用)

単 4 電池



X 4

X 8

X 4

取扱説明書



X 1

規格

映像表示システム

NTSC/PAL

表示画面

画面サイズ：

10.2型

幅：

221 mm

高さ：

132 mm

アスペクト比：

16:9

液晶：

透過型TN液晶ディスプレイ

駆動方式：

TFTアクティブマトリクス

画素数：

800 (幅) x 480 (高さ) x 3

有効画素数：

99.9%以上

照明方式：

冷陰極蛍光管

共通部

操作電圧：

10 - 16 V (通常：12V)

消費電力：

2.35A (最大)

1.60A (通常)

1.40mA (スタンバイ時)

ビデオ入力：

1.0V p-p 75Ω

オーディオ入力：

2.0V rms (最大)

IRトランスミッター：

チャンネルA：2.3MHz/2.8MHz

チャンネルB：3.2MHz/3.8MHz

FMモジュレーター：

8.1MHz - 92.1MHz

PLL周波数

シンセサイザー

動作温度範囲：

-20℃～70℃

モニター

幅：

305 mm

高さ(オープン時)：

52 mm (204 mm)

モニター部開閉角：

120°

奥行：

305 mm

重量：

2.27 Kg

取り付けブラケット

幅：

260 mm

奥行：

165 mm

厚さ：

1 mm

トリムリング

幅：

345 mm

奥行：

350 mm

高さ：

65 mm

取り付けブラケット、トリムリングを使用した取り付け例 ^(※1,2)

⚠ 注意

取り付けには、専門技術と経験が必要です。
お買い上げ店に依頼してください。

⚠ 注意

電動ドライバーの使用を禁止します。
電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車両破損の原因になります。

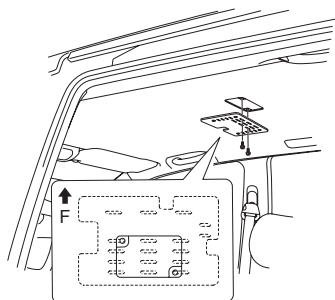
取り付けブラケットの固定

車両のルームランプ等を取外して固定する場合

※ルームランプ固定用ネジがタッピングビスの車両は、別途スピードナット等を使用してネジを固定してください。

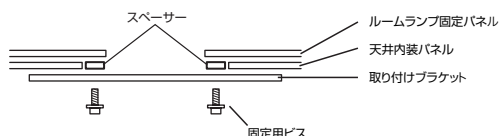
車両ルームランプ等の固定用ネジ穴を利用して取り付けブラケットを固定します。

※ルームランプの固定方法がクリップ式になっている車両は、別途スピードナット等を使用してください。



⚠ 注意

※取り付けブラケットを固定するとき、ルームランプを固定してあるパネルと天井内装パネルに隙間があると固定用ネジの締め込みが出来ない場合があります。隙間がある場合は、スペーサー等を使用してネジをしっかりと締め付けてください。



⚠ 警告

固定は、ネジをしっかりと締め付けてください。
ねじの締め付けが不十分な場合、モニター脱落の原因になります。

⚠ 警告

固定に使用するネジのサイズに注意してください。
利用するねじ穴のサイズより小さいねじを使用した場合、モニター脱落の原因になります。

⚠ 注意

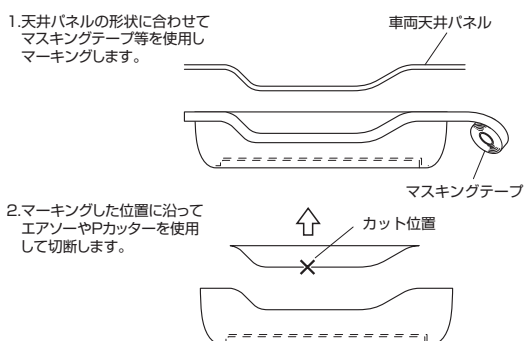
固定に使用するネジの長さに注意してください。
利用するねじ穴と天井外板の距離以上の長さのねじを使用した場合、車両破損の原因になります。

トリムリングの切断

天井パネルとモニター本体との間に隙間が開いてしまう場合、トリムリングを使用して隙間を塞ぎます。

※隙間がない場合は、トリムリングの使用は必要ありません。

※切断位置と形状は車両により異なります。取り付け位置の形状をよく確認のうえ、切断してください。



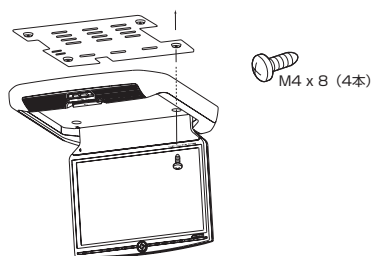
⚠ 警告

トリムリングはしっかりと固定して切断を行ってください。
固定が不十分な状態で作業を行った場合、ケガの原因になります。

モニターの取り付け

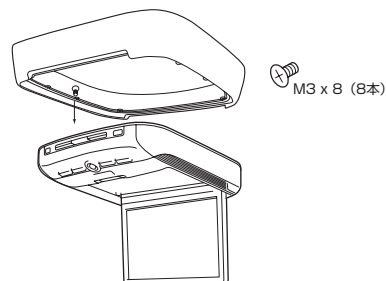
取り付けブラケットへの取り付け

※取り付けは、配線の挟み込みに注意してください。



トリムリングの取り付け

※トリムリングを使用しない場合は、取り付けの必要はありません。



⚠ 警告

固定は付属のねじを使用し、しっかりと締め付けてください。
ねじの締め付けが不十分な場合、モニター脱落の原因になります。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
お買い上げ店、または「修理ご相談窓口」に、修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点
はお買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

<一般回線ご利用のお客様用>

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金で

ご利用頂けます。

<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>

TEL:048-662-6636



●電話受付時間 土日祝日、

弊社休業日を除く 9:30 ~ 17:30

●電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせを

おすすめします。

FAX:048-662-6676

●アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販社名	電話番号	住 所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22-2-1 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス	022-239-5331	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴字羽黒104-1	宮城県/山形県/秋田県 /青森県/岩手県
郡山オフィス	024-925-3811	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11-5	福島県
北関東エリア 北関東オフィス	048-664-7701	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	東京都北・西部/埼玉県/ 群馬県/栃木県
松本オフィス 新潟オフィス	0263-26-0783 025-257-8680	〒390-0487 長野県松本市笹部1丁目3番7号 オフィスGB 205号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1-3-6 エクセレント石山	長野県/山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部/千葉県/茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部/神奈川県/ 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3-108	愛知県/三重県/岐阜県/ 静岡県(大井川以西)
北陸オフィス	076-240-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3-72-1	石川県/富山県/福井県
近畿圏オフィス 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	大阪府/奈良県/和歌山県
中四国オフィス 岡山オフィス	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4-5-2	岡山県/島根県/鳥取県/ 徳島県/香川県/愛媛県
広島オフィス	082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2-11-16	広島県/山口県
九州エリア 福岡オフィス	092-452-8870	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3-23-2 ヒロタビル7	福岡県/大分県/佐賀県/ 熊本県/鹿児島県/宮崎県
長崎オフィス	095-727-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町3-13	長崎県/沖縄県
アルパイン京都販売(株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上鳥羽高畠町88-2	京都府/滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133-1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3-10-8	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管 轄 エ リ ア
アルパインカスタマーズ サービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/ 千葉県/新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズ サービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/ 岡山県/島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/ 徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/ 鹿児島県/宮崎県/沖縄県

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご愛用者WEBアンケートにご協力ください

弊社ではお客様により満足いただける製品を目指して、お客様のご意見を伺うアンケートを実施しています。

お手数ですが、以下のインターネット ウェブサイト（弊社ホームページ内）にてご回答下さいますようお願い申し上げます。

尚、回答者の個人情報を弊社以外で利用することはございません。

<https://secure.alpine.co.jp/ps/>

質問事項すべてに回答して下さった方の中から抽選で粗品をお送り致します。

（なお、発表は発送をもってかえさせていただきます）

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問い合わせに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。